

早野敏雄 宮下春雄 三添勝三 小島明 黑田忠平

△經理課
 課長 曾志崎誠二
 參事補 (前) 森泰吉

○庶務部
 部長 杉田富
 參事補 (前) 佐々木修二郎
 電話 芝三田綱 六七九

小泉八郎 杉本良夫 峯岸俊雄 佐々木茂吉 森泰吉

△文書課

課長心得 參事補 信原義夫
 市外、荏原、洗足、小山 五三九

野口靖 有吉一夫 長野象一 松井郁次郎 古寺清平 安武政敏 山口武四郎 佐野一郎

△人事課
 課長 (兼務) 佐々木修二郎
 (前) 小田茂樹 關與平 菱沼茂三

△調度掛

保長 小見波隆四〇
 牛込、通寺

中村松太郎 林俊彦 秋山勘一郎 柴田康壽 千田太藏 伊藤藤波 野秋敏之助 白石新太郎 堀正次郎 原正二郎 小宮山量平

△臨時建築課
 囑託 西村好時 囑託 原田道成

電氣掛
主任

外山英造 飯島義孝 岡村興一 山本楠男 泰山武郎 江川精一 速藤鶴一 菊地秋藏 石川秋夫 坂井喜代造 金子益二 元吉清之丞 淺子春吉 河野市造

係員 和田健彦

○調査部
 部長 澁澤敬三
 取補役 (前) 酒井杏之助

△調査課
 課長心得 參事補 市外、中野、西三六四二

大木計吉 村上義雄 久留間二郎 佐藤正雄 岡本初太郎 井上薰次 古谷喜代次 吉江博司 安部寅次

△信用調査課

課長心得 (兼務) 酒井杏之助

西野利乙 水野平 小波昌壽 猿島利雄 宮島公一 清水公一 小澤寅四郎 柳澤隆四郎 小藤乙三 伊藤乙三 小島乙三 岡本正延 富澤米太郎 佐藤延吉 尾藤榮吉

△保管課
 課長副參 國井岩二郎
 事務部長 (兼務) 小石川、香羽五ノ一七
 宮島正憲 中島正雄 菊地正武 金井岩次 上村清次 安部辰二 村山包治 喜多野章 飯多島彰 實槻直助 岡本五郎 大森常勝 下河原愛二 田島順一

△出納課
 課長 大道寺忠雄
 參事補 牛込、矢來七五 野島、秀吉 鈴木、全 坂本、兼次郎 坂口、嘉壽雄 野口、清一 高橋、清一 松田、祐一
 市川寬治 柳田武雄 佐藤英二 鶴田貞世 松井三郎 加藤泰邦 芝崎德之丞 川村陸藏

△手形掛
 八十島親義 河右健三 中右秀二 中右孝二 畑水彌之 清起彌之 古河德太 吉岡健太 玉井孝道 岡本隆義 佐藤雄祐 木村德一 鈴木拾一 堀江善吉 丸山丑之 森岡彌之 金田清盛 藤島越盛 船越登雄

掛長 中市村新太郎
 參事補 戶木信佳
 △取立掛
 齊田銓之助 阿部小次郎 津山俊吉 羽田清次 田村德太郎 太田隆太郎 服部四七三 小林憲司 山本強一 須藤恒二 荒井武男 鶴飼淺香 星野友之

△計算掛
 掛長 石井重克
 參事補 千葉、市川、新田、二、四
 井上綾夫 岩野有文 益子慶太郎 飛田慶太郎 清野計二 星野計二 伊吹鉄二 渡邊八郎 樋口善一 波邊弘茂 增淵

八十島親義 里見義一 福田榮之助 佐藤榮之助 高橋敏彦 野口晉次郎 吉原健藏 谷田部義宜 富澤三枝 若林和歌 西村英彦 富澤金彌 新澤村秀 黃鐘村秀 久保田幸一 田中金太郎 齊藤三郎 藤原權吾 小澤岩三郎

事務見習 田雨大藤勝河川瀧白
 中島平新有坂酒 掛長 伴 五 百 彦
 本 田 賀 里 川 部 井 藤 町、永 田 二、六 二
 信 助 幸 義 源 多 次 藤 二 郎 雄 一 雄 男 博 彦
 治 郎 良 雄 郎 雄 郎 二 郎 雄 一 雄 男 博 彦

△得意先掛

藤 田 義 一 六 雄
 安 念 育 英 治
 井 出 健 源 治
 出 口 健 五
 種 山 末 雄 郎
 大 場 三 郎
 籠 山 織 三 郎
 市外、中 濠 谷、宇 田 川 高
 兒 島 俊 之 助
 瀧 田 潔
 野 治 義 男
 相 澤 昇
 林 五 樹
 大 槻 幸 一
 紅 谷 賢 三
 永 田 正 文

野 尻 正 哉

○兜町支店

日本橋區兜町一番地
 電話(68)代表一一一一
 支店長 井 上 德 治 郎
 支店長 太 田 民 治
 市外、野 方、新 井 六 二 五
 大 浦 佐
 加 納 純 次
 山 田 麟 太 郎
 梶 井 磯 五 郎
 三 浦 良 雄
 永 田 正 治
 佐 藤 龍 太 郎
 長 田 敏 之 介

三 澤 英 一
 船 津 力 之 助
 原 田 昌 雄
 篠 崎 茂
 淺 野 惣 平
 笠 原 二 郎
 岩 柳 四 郎
 吉 田 寬 保
 二 宮 尊 嚴
 高 岡 利 巖
 細 野 安 治
 下 島 安 治
 八 木 澤 兼 治
 中 田 六 松
 前 田 健 三
 大 塚 發 三
 田 官 貞 三
 淺 沼 正 一
 齋 藤 福 太郎

○壹町支店

石 金 井 敏 正
 日本橋區壹町三丁目
 三共ビル内
 電話(34)三一一〇〇八
 支店長 內 山 吉 五 郎
 支店長 小 石 川、大 原 一 八
 支店長 小 石 川、宮 下 四 九
 支店長 菰 淵 三 郎
 支店長 三 輪 清 藏
 支店長 田 中 覺 之 助
 支店長 坂 本 尙 造
 支店長 紅 林 英 一
 支店長 西 尾 右 三 郎
 支店長 廣 次 郎
 支店長 加 川 福 三 郎

町 田 俊 昇
 岩 越 敏 一
 神 山 敏 時
 長 谷 川 季 郎
 諸 戶 勝 郎
 松 本 莊 造
 宇 津 木 祐 之
 上 原 尙 香
 高 橋 孝 吉
 片 岡 與 志 三
 近 藤 吉 德
 岩 本 孝 正
 瀨 能 正 直
 遠 藤 三 雄
 吾 妻 清 芳
 坂 本 敬 一
 伊 東 敬 三
 稻 垣 虎 吉
 菱 沼 繁 三

○彌留支店

日本橋區田所町
電話(67)二七〇 三六九
浪花(67)三六八
支店長 中田庄三郎
副支店長 横濱、鶴見、豊岡三〇六
支店長代理 笠原孝三郎
理事兼事務 市外、澁谷、羽澤七

横山正一郎
平澤寬
若月一夫
加藤清之助
淺沼芳郎
櫻井義人
立木敏夫
内田英夫
中野茂夫
高橋元吉
南雲二郎

松浦文太郎
高木岩松
藤田唯雄
清水利太郎
安藤賢次
說樂秀作
相澤興吉
堀口三郎
宗澤茂兵衛
金井久四郎
菊地雙二郎
兼子良介
窪谷康二
田中文雄
深田儀三
藤井虎治
松井忠造
岸本鉄五郎
會根原至郎

○深川支店

深川區黒江町
電話(73)三一七 二〇八
本所(73)四七〇
支店長 中村一夫
副支店長 市外、井荻、下荻窪六三一
支店長代理 内山正七
代理 芝、白金今里一五八

宮崎吉雄
茂木壽吉
下位哲太郎
岡田能吉
小林清三
鈴木房明
酒本茂作
小林康次郎
石井義雄
米村信三

岡野二昇
村井賢二
秋元正平
大泉正平
杉山祝二
横田祝一
谷口雄一
水島雄一
平出雄夫
綿引弘三
宮本清二
西河重次
仁上幸吉
小山上幸三
石塚武雄
中島保雄
中村伸雄
早川輪加
望月初太郎

○丸之内支店

麹町區丸ノ内一丁目
海上ビル
電話(23)五〇七 五〇九
丸ノ内(23)五〇八
支店長 土屋 勲
副支店長 牛込、市ヶ谷山伏一四
支店長代理 西園寺 實
理事兼事務 市外、代々木、初臺五五

佐藤正夫
石橋次郎
今井國男
佐藤正夫
藤原正夫
田村嘉太郎
小村嘉太郎

宮田好夫
增田正男
磯貝正賢
湯本本吉
久野政二
田口英二
安五郎
松岡俊之助
田中政治
鈴木良一
大和信男
岩澤正雄
加川緑之助
田口松八郎
杉崎敏夫
矢崎敏夫
中山正夫
中山正夫
金井健一郎

高 戸 楚 一 郎
河 井 六 郎
南 部
内 藤 捨 比
角 下 義 古
小 栗 元 醇 三 次
關 澤 育 之 助 男
松 田 育 之 助 男
溝 口 岸 長 德
牧 野 岸 吾 德
山 本 喜 雄 吾
織 田 五 六
淺 田 清 夫
清 水 親 夫
龜 井 甲 子 郎
米 澤 忠 吾
土 田 威 雄
竹 岡 庫 太 郎
藤 沼 敏 雄

大 木 村 芳 寬
川 又 三 郎
二 子 石 貞 雄
横 山 茂 一
小 川 上 二 郎
村 齋 信 郎
高 齋 信 郎
中 村 福 太
南 一 郎
梅 田 喜 德 一
飯 田 喜 德 一
風 見 孝 實
增 喜 常 郎
川 崎 貞 三 郎
荒 井 多 美 雄
廣 川 正 一
笠 原 正 一

○京橋支店

京橋區京橋三丁目
片倉ビル内
電話(56)三三七七
京橋(56)三三七八

支店長

大河原源五郎

支店長代
理事補

黒田義男

芝、高輪南四七
電話高輪五九三

本郷、駒込神明三四〇
松井覺三郎
中村直男
松崎善二
森谷隆吉
齋藤義直
關野正衛
石田正一
倉井文世
武井文世
柿沼文次郎

○浅草支店

浅草區黒船町
電話(84)三三九二
浅草(84)七九一五

支店長
副支店長

長谷川条藏

小石川、八千代三四
電話小石川三二五三

小 栗 東 吾
林 部 誠
武 澤 篤 正 豊
吉 藤 武 次
佐 藤 幸 一 雄
反 田 善 雄
多 田 義 雄
陸 田 義 雄
長 島 清 雄
石 田 文 雄
幸 坂 敏 行
野 秋 村 喜 吉
中 村 喜 吉

代支店長
理

山口莊一
小石川、水邊橋二ノ五

山 口 莊 一
三 枝 一 郎
秋 山 一 郎
島 田 源 一 郎
藤 田 源 一 郎
北 村 金 太 郎
淺 田 正 三 郎
清 水 匡 三 郎
中 村 得 平 郎
武 石 祿 平 郎
小 林 伴 吉 郎
中 原 昇 平 郎
大 原 昇 平 郎
直 井 政 實 郎
飯 田 登 太 郎
櫻 井 照 泰 郎
高 田 亨 郎

○日比谷支店

麹町區内幸町一丁目
幸ビル内
電話(67)一五四三
銀座(67)五一四六

支店長
副支店長

西川榮祐

代支店長
理

菊地峻治
牛込、市ヶ谷加賀一ノ六

市外、澁谷、豊分二
綾部喜作
徳田辰雄
大場健次
早川健次

中 川 久保清 昇
大 久保清 一
田 邊善三 郎
杉 浦光 三
瀧 澤 光
高 島 良 雄
笠 原清太 郎
飯 田 勝 一
後 藤 榮 一
高 田 利 雄
森 田 銀 吾
服 部 大 治 郎
志 田 三 富 郎
永 見 三 郎
佐 久間 豐 正
關 根 榮 吉

○吳服橋支店
日本橋區吳服橋一丁目
電話 二二一六二
日本橋 二二一六二

支店長 宇野甚太郎
支店長代 井上勝治
理事 下谷、上野、橋本、三九

青 山 元 之 助
稻 本 誠 之 助
田 中 了 三 郎
末 塚 永 寬 郎
石 塚 新 邦 一 俊
小 津 孫 一 朗
水 谷 謙 二
山 本 謙 二
和 田 實 二
西 浦 高 胤
鈴 木 健 一 郎
黑 澤 義 雄
川 島 國 雄
有 川 博 男
萩 原 枝 一

○堀江町支店

日本橋區堀江町一丁目
電話 (67) 四六六五
浪花 (67) 四六六五
支店長 高山 健爾
副支店長 牛込、加賀 二ノ三一
電話 牛込 四四五一

小 倉 國 藏
佐 藤 雪 夫
加 藤 泰 二 郎
高 島 謙 次
大 澤 俊 雄
高 野 武 男
中 島 一 郎
落 合 八 郎
小 俣 次 郎
鈴 木 不 二 夫
足 立 憲 治

支店長代 櫻井清
理事 神奈川、平塚、新宿
一ノ五四五

矢 島 錄 三
加 藤 右 二
瀧 田 傳 太 郎
加 藤 茂 雄
石 川 正 雄
大 谷 三 郎
榎 本 文 治
田 沼 武 兵
竹 內 貞 夫
伊 藤 梅 雄
鳥 居 塚 清
石 井 繁 樹
橋 本 寅 之 助
守 屋 金 作
小 島 一 三
井 上 一 三

多 株式会社第一銀行

○本郷支店

本郷區本郷三丁目
電話 (85) 六一三一
小石川 (85) 六〇六〇
支店長 宮内 實
副支店長 市外、千駄ヶ谷、向山
四九六
電話 青山 四一七〇

井 上 安 之 助
青 木 利 作
井 内 正 三 郎
野 島 午 四 郎
飯 島 根 保 郎
高 部 威 男
高 木 武 治
押 木 敏 夫
木 島 武 治
上 野 敏 夫
鳥 羽 辰 雄

支店長 上 濱 誠
代理 本郷、駒込 二一

赤 澤 素 三
藤 卷 弓 太 郎
鈴 木 彌 太 郎
豐 田 秀 雄
戶 泉 鈞 三
野 村 和 夫
長 坂 德 彦
中 島 武 男
野 田 武 一
橋 本 俊 諒
吉 成 俊 治
岩 田 英 治
小 島 善 太 郎
古 谷 善 實
久 保 島 松
生 方 善 衛
石 川 善 平

鈴木正男
田島一夫
日暮武雄
岡本五男

○赤坂支店

赤坂區田町二丁目
電話(30)二一三三
青山(五〇七三)

支店長
參事補

代支店長
理

本田龍二
市外、中目黒一五二六
白石小唐三
市外、東調布町、輪ノ木
七五
松田正明
島田徳治郎
秋元嘉之郎
西野健二
黒田一郎
小野崎幸彦

手塚卯八郎
島崎史男
中田喜六
二木文次郎
鷲頭賢治
新井榮治
中村恒次郎
古谷野好一
中島信次
長坂達也
八掛良平
檜山廣次
星野義夫
西田敏三
青木富彌
平塚芳亮
松本雄二
山本靖
伊藤

○本所支店

本所區練町一丁目
電話(73)五七七〇
本所(五七一〇)

支店長
參事補

代支店長
理

岩本戰捷
川田清三
大橋利三郎
矢部銀平
板橋健之助
黒崎光一
島田三郎
太田金吾
坂田正太郎
阿島平治

○三田支店

芝區三田壹丁目
電話(44)二〇五二
高輪(四八八四)

支店長

代支店長
理

綠川治
芝、白金、今里、八九
森本信吉
市外、澁谷、櫻丘、一五
大河内勝易
水野昌一郎
富田武
石井彌一
諏訪清一
橋田謹三
足立角平
橋本等
竹内庸太郎
山岡隆一
岡崎

○銀座支店

京橋區銀座五丁目
電話(57)二〇〇六五

支店長
副參事

代支店長
理

吉田實彦
坂田貞一
森村謙三
麻布、中ノ二、三四
電話 青山 三三三三
秋谷元一
市外、澁橋、柏木、四七〇
秋元章吉
梶川有吉
住谷泰藏
寺村邦術
金元義男
堀部小一郎
菊地好吉
奈良良清

福田劍太郎
宮田正雄
坂井三龜男
高橋定勝
諏訪永三
松田永男
永田與作
小川義壽
小島谷男
木村本吉
島村松澤
西村晃一
鳥海宗芳
佐藤憲一
宮岡金次郎
渡邊辰藏
小澤榮藏

支店長 桑原安二

市外、目黒、上目黒、三軒

支店長 吉田嘉和

市外、松澤、赤堤四六六

支店長 安倍男藏

神奈川、鎌倉、雪ノ下四三七

△出納係

星野 鑿也

本馬 將次郎

久野 木龍雄

△貸付係

田邊 正治

溝口 静男

△預金係

生田 目西藏

楠文 一平

五味 操一

△積金係

井汲 泰

横尾 松之助

高柳 英注

大江 秀太

高萩 正晴

菅原 久吾

佐々木 武三

武田 金太郎

△計算係

松澤 柳三郎

大山 文代

山澤 小柳

△調査係

福田 敬三

△庶務係

松枝 壯太郎

宮本 篤次

桑原 かね子

菊地 うめ子

○白山支店

本郷區駒込東片町一〇七

電話小石川(85)六一九四

支店長 高橋 英二

市外、千住、千住三ノ森

支店長 白石 二郎

市外、西葛、大根原二

志摩 清爾

阿部 勝三郎

小野 小六

中島 恒平

株式会社第三銀行

當行は明治二十七年九月の創立にして始めその資本金五百萬圓なりしが同三十一年日本興業銀行を合併して金八百萬圓に増資し日露戦後の反動に依り莫大の損失を填補する爲め四十二年六月金四百萬圓に減資し大正十二年五月大戦後の反動時代に於て再度の整理を爲し更に資本金を貳百萬圓に減資するに至れり同年七月再び金五百萬圓に増資すると共に銀行の經營を安田系統の手に委ぬるに至り順次發展の域に進み昭和二年三月別に資本金五百萬圓の第三金融商事株式會社を創立し之れを帝國商業銀行に合併し變體的の増資を爲し名稱を第三銀行と改め現在公稱資本金壹千萬圓拂込金四百萬圓として今日に及んだ五年末業績を管るに預金總額金壹千參百四拾四萬六千參百拾八圓八拾四錢にして當期利益金は前期繰越金を合算し金貳拾萬八千貳百五拾圓六拾參錢を得之れが處分方法は法定準備金に金壹萬五千圓を控除し殘額金拾九萬參千貳百五拾圓六拾參錢を後期へ繰越今期も依然無配當である

株式會社第三銀行

東京市日本橋區兜町五番地

電話茅場町(66)自二二一五七

取締役 安田善兵衛

市外、和田堀、和田砂利

電話(四谷)四四六六

專務 大 泉 哲

取締役 芝、白金三光 四四五
電話 高輪 八四七

同 郷 誠之助
電話 上二番 二八
電話 九段 五七二

同 藤 山 雷 太
芝、白金 今里一四
電話 高輪 一五四五

同 望 月 軍 四 郎
赤坂、青山南六ノ六一
電話 青山 一一〇三

同 岡 崎 國 臣
市外、大崎、下大崎六八
電話 高輪 八五〇

同 兵 須 久
市外、千駄ヶ谷、原宿
一七〇
電話 青山 七四四

同 森 脇 榮
大阪、豊能、箕面牧落
四九五ノ一五
電話 笑面 一五一

監査役 波 邊 善 十 郎
千葉、市川、新田 一一七
電話 市川 一二二

同 飯 田 武 也
市外、松澤、上北澤八丁
九一一九ノ六

同 齋 藤 洵
牛込、北山伏 四
電話 牛込 三〇八

支配人 北 川 慶 治
本郷、駒込 二二一、七
電話 小石川 七四六八

副支配人 明 石 幸 三 郎
市外、荏原、中延 一一三
電話 荏原 二八七一

△出納課 別 所 男
市外、井荻、下荻 二ノ
一三〇

海 保 祥 一
本郷、駒込、神明 四一九

片 寄 堅 治

田 邊 米 太 郎

齋 藤 淳 二

後 藤 賢 太 郎

大 山 正 明

△貸付課 常 田 吉 次 郎
市外、馬込、東區九二三

城 金 久
日本橋、富澤元 岡島方

武 田 宣 彦

野 上 善 介

小 高 幾 三 郎

白 岩 佐 吉

阿 部 信 吉

岩 本 治 七

△預金課 大 場 留 治
市外、大井、虎塚 四三

市 川 辨 次 郎

武 元 忠 義

岸 田 幸 三 郎

△計算課 森 井 謙 三
市外、大井、關ヶ原 三三

芦 田 良 子

伊 東 英 雄

兒 玉 英 德

村 山 繁

△保管課 湯 川 乙 吉
下谷、上根岸 一一〇

小 山 利 吉

牛込、北山伏 三四

田 中 豊 秋

太 幸 サ チ

赤 池 四 郎 治
赤坂、青山北六ノ三六

野 引 増 吉

中 川 四 郎

米 田 秀 次 郎

清 水 利 一 郎

梅 田 重 喜 一

赤 塚 芳 夫 郎

早 川 七 郎

赤 堀 一 男

△爲替課 大 濱 政 徳
市外、野方、豊宮 一六八

山 中 留 吉
市外、日暮里、旭 二ノ一
四四ノ二

樋 口 昇
高 橋 宜 義
今 井 幸 作
淺 井 英 藏

△庶務課 景 山 一 良
市外、和田、和泉 五九

山 田 禮 三
市外、目黒、上目黒 東山
一一〇〇

岡 田 不 二 夫

波 邊 敏 夫

高 田 千 代

石 川 か ぶ 子

兒 玉 修 子

渡 邊 壽 恵 子

岩 田 菊 枝

△調査課 鈴 木 正 人
日本橋、濱 二ノ七三

依 田 諺 藏
小石川、大塚、坂下町 三

岡 村 秀 夫

一九九

○下谷支店

下谷區上根岸町四

電話(83)五八四〇
下谷(83)七三〇一

支店長 北川 興守

市外、大井、鹿島谷三三

支店長 杉田 庚子郎

市外、代々橋、豊原二〇

津田 春藏

蘆澤 重雄

富田 博

渡邊 洪一郎

小原 角太郎

保田 安正

和田 義雄

守谷 憲太郎

遠藤 敏一

株式会社第三十六銀行

當行は明治十年十二月國立銀行條令に依り創立せられ八王子市に本店を有し極めて古き歴史を有する銀行にして現今安田系統に屬し公稱資本金參百萬圓拂込金五拾萬圓を有し今日に至る五年末業績を管るに預金總額金九百六拾八萬貳千九百四拾八圓拾五錢八厘にして當期利益金は前期繰越金行員恩給基金戻入を合算して金五萬六千五百八拾六圓八拾九錢を得之れが處分方法は法定準備金六千圓株主配當金(年五分)金參萬七千五百圓役員賞與金參千圓後期繰越金壹萬八拾六圓八拾九錢である

株式会社第三十六銀行

東京府八王子市横山町

電話八王子 六一〇五
六三〇五

取締役 安田 善四郎

本席、駒込 林一八
電話 小石川 一五〇

取締役 川島 貞造

麻布、森元 二ノ一八
電話 青山 五二九一

取締役 栗原 久作

市外、赤坂、東表三三〇
電話 表参道 一二三

同 飯田 武也

市外、松澤、北澤八丁丸
一一一九ノ六

取締役 淺野 準

市外、入新井、新井宿
二六二二

同 安田 善彦

市外、高田、雜司ヶ谷
旭出四三

監査役 石橋 光治

市外、千駄ヶ谷、千駄ヶ
谷三四七

支配人 佐藤 忠次

八王子、横山 六四
電話 一〇七五

株式会社第三十六銀行

1101

△庶務課

支配人代 矢野 一郎
理事 八王子、小門 一〇五
電話 四一四

△調査課

支配人代 松浦 嘉俊
理事 八王子、神野 一三六

△預金課

課長 野崎 恒三郎
八王子、元横山 三五七

△出納課

課長 高橋 專司
八王子、八木 一二

△貸付課

課長 小林 徳太郎
市外、武蔵野、吉祥寺
山谷 二二〇三

△計算課

課長 小峰 雄二
八王子、上野 八八

○五日市支店

東京府五日市町八四
電話 五日市二八

支店長

武藤 正二
八王子、南新 一〇

○大横町支店

八王子市大横町二
電話 八王子一四〇

支店長

中里 宇三郎
八王子、元横山 三七〇
電話 六九三

○立川支店

東京府北多摩郡立川町
電話 立川五〇

支店長

村本 孝雄
市外 立川 三一三七

○東京支店

日本橋區大傳馬町
二ノ一
電話 (67) 二二八一
浪花 (67) 三一九五

支店長

和田 善雄
市外、北多摩、武蔵野、
吉祥寺 一八一六
電話 吉祥寺 二三一

次長

島村 吉之助
市外、杉並、高圓寺 七一

株式会社 第四銀行

當行は本店を新潟市に存置し明治六年國立銀行條令に因り設立されたる第四國立銀行の後身であつて明治二十九年國立銀行條令の滿期と共に新潟銀行と改稱し大正六年更に資本金を壹千萬圓に増資した其後沼澤銀行新發田銀行健三銀行等を合併し更に現在公稱資本金壹千五百九拾六萬五百圓拂込金壹千叁百四拾六萬五百圓となり新潟縣下に二十餘箇所の支店を有する外東京市福島縣若松市にも支店を有し新潟縣下に於ける金融界の覇者である東京支店は兜町方面の證券擔保割引を主とし僅少の商業手形の割引をも取扱つてゐる五年末業績を管るに預金總額金四千六百貳拾叁萬五千參百七拾圓七拾錢參厘にして當期利益金は前期繰越金を合算して金壹百叁拾八萬七千七百參圓七拾四錢を得之れが利益處分方法は法定準備金壹拾萬圓役員賞與金交際費金壹萬壹千八拾九圓貳拾八錢使用人退職給與基金五千四百四拾圓六拾貳錢配當金(年八分五厘)金五拾七萬貳千七拾壹圓貳拾五錢後期繰越金四拾七萬九千壹百貳圓五拾九錢である

株式會社 第四銀行東京支店

東京市日本橋區南茅場町七番地
電話 (66) 五七二
茅場町 (66) 三四〇七 五七三

支配人

池田 文藏

麹町、飯田 三ノ三〇
電話 九段 一七三〇

副支配人

坂垣 平吉
市外、大井、倉田 三三〇

△貸付係

吉田三樹
小原英策
酒井精次

△庶務係

本田一策

△預金係

高塚直太郎
福田才一
小宮山利三

△爲替係

松田安徳
中村喜八郎
飯田義雄

△出納係

榎本清市
大橋勇吉
本間三郎

當行は甲府市に本店を存置し明治十年三月國立銀行條例に準據し第十國立銀行として創立せられ國立銀行條例滿期と共に組織を更改し株式会社第十銀行と稱し資本金六拾貳萬五千圓たりしもその後順次資本を増加し更に昭和三年三月若尾家事業整理縮少の爲め同家一族の經營にありし若尾銀行の本店及縣下の支店を繼承し之を合同し現在公稱資本金壹千四拾萬圓拂込金六百五拾萬圓に及び縣下に於て最大資本を有するに至つた現在頭取は細田武雄氏である

株式会社 第十銀行

株式会社 第十銀行 東京支店

東京市神田區南乗物町一
電話(25)四一〇〇 九三一
神田(25)三七二九

支店長

名 取 繁
市外、澁谷、練ヶ丘一六
電話 青山 七三五〇
小 尾 松 藏
市外、澁ノ川、四輪三七

△貸付係

石原權作
保延道人

△爲替係

中島利次
橋田一雄

△出納係

宮下平一

多 株式会社第十銀行東京支店

二〇五

杉原國太郎
菊川芳男

△計算係

三枝孝資
荻野治雄

株式会社 第十九銀行

當行は明治十年十月の創立に係り本店は長野縣上田市にあつて明治九年の發布に依る國立銀行條例に依り創立せられたるものにして由來時勢の進展に自行の發展に伴ひ順次資本を増加し更に昭和三年に東山銀行を昭和四年四月に中野銀行をも合併し現在公稱資本金壹千五百萬圓拂込八百六拾貳萬五千圓と云ふ長野縣に於ける大なる資本を有する銀行であるが最近第十九(資本金千五百萬圓内拂込八百六拾貳萬五千圓)並びに長野市の六十三(資本金千貳拾六萬圓内拂込七百六拾五萬圓)の兩行の合併愈々具體化し六月八日兩行とも重役會を開いて假契約を結び十日馬場勲銀總裁の來長を求めて合併に關する打合せを爲し更に十一日大株主會を廿八日株主總會を開いて合併を決議し八月一日より實施することに内定した而して兩行合併の條件は

- 一、合併後は資本金を半減して千參百參拾壹萬圓とし拂込金は八百拾參萬圓とす
- 二、對等合併とす
- 三、兩行の積立金は六百七拾萬圓を七割切崩し貳百拾萬圓を新銀行に残す
- 四、新銀行の頭取は兩行談合の上決定の事
- 五、新銀行は八十二銀行と改稱すること

而して合併の際には十九の長野、上諏訪、六十三の東京、横町、下諏訪の各支店を廢止し其の他は現在の通りとするものである因に合併の新銀行に對しては三菱銀行が全部の面例を見る事となつて居り之に依り合併の最後の決定を見たものであると五年末業績を管るに預金總額金壹千貳百參拾四萬壹千九百四拾五圓拾七錢にして當期利益金は前期繰越金退職給與積立金戻入を合算して金四拾六萬貳千七百拾九圓八拾九錢を得之れが處分方法は法定準備金五萬圓退職給與積立金壹萬圓賞與金壹萬圓配當金(年六分)金貳拾五萬八千七百五拾圓後期繰越金拾萬參千九百六拾九圓八拾九錢である

株式会社 第十九銀行東京支店

東京市日本橋區堀江町二ノ一四

電話 浜花(67)一五八〇九

常務取締役

黒澤利重

支店長

高橋周吉

市外、杉並、高圓寺二只

次長

峰村國一

△貸付割引係

小宮山

茂

市外、東横、平塚一五三
電話 大塚 三七九七

支店長

小宮山 茂

△預金係

戸塚 東助

△出納係

高橋周吉

(前 橋)

尾崎一雄

△爲替係

御子榮祐吉

高畑圭一

△計算係

黒澤三郎

麹町、下二番三二

内 藤 益 夫

△文書係

折井 勲 五郎

市外、中野、上一五

株式会社 高田農商銀行

當行は明治三十三年五月土地の有力者大塚平氏篠五郎作氏主唱の下に資本金拾五萬圓を以つて設立されたる銀行であるが設立當時は高田町も未だ開けず當行は農村相手の事として比較的業務も閑散であつた然るに歐洲大戰後好況の影響を受け東京郊外は漸次發展し來り高田池袋方面は著しき發展を告げた茲に於て當行は増資の計畫を立て土地の發展に順應すべく努めつゝあつたが時會々塚本金兵衛氏福室郷次氏堤康次郎等當行を乗取る考へにて關係し大正九年三月資本金拾五萬圓を一躍百萬圓に増資した而して一時は好調に推移してゐたけれども堤氏の關係會社たる箱根土地東京ゴム會社と密接なる關係を結び之等の會社に固定貸付が出来當行は自然經營難を仰つ様になつたしかも同地方の發展に伴ひ有力銀行の郊外進出に壓せられ今や預金漸減業況閑散を告ぐるに到りたり五年末業績を管るに預金總額金七拾萬六千九百貳拾五圓五拾貳錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金八千壹百五拾九圓壹錢を得當期も依然無配當である

株式會社 高田農商銀行

東京府北豊島郡高田町三一〇
電話牛込(34)七〇八

常務取締役 吉岡 榮藏

市外、落合、目白文化村

取締役 川島 與右衛門
(同上)

同 淺野 亮 映
(同上)
監査役 山根 定
(同上)

株式会社 塚越晝夜銀行

當行は明治三十三年四月千葉縣に於て創立せられたる木下銀行の後身にして當時その經營宜敷を得ず殆んど休業状態なりしを大正八年之が整理完了し金融業塚越正司氏一族にて買收すると共に東京市に本店を移し同時に改稱を爲し大正十一年十二月金七拾五萬圓に増資し現在公稱本金百萬圓拂込金四拾參萬七千五百圓を有し本邦に於ける晝夜銀行として安田系統の日本晝夜と共に取引者に便なる點は共通してゐる五年末業績を管るに預金總額金壹百萬八千八百五拾八圓貳拾壹錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金壹萬四千四百九十圓貳拾壹錢を得之れが處分方法は法定準備金壹千五百圓別途積立金八千圓退職給與基金五百圓後期繰越金四千四百九十圓貳拾壹錢である

株式会社 塚越晝夜銀行

東京市日本橋區堀越町二ノ三九
電話浪花(67)三三九九二一〇

取締役 塚越正司
頭取 龜町、華八
電話 九段 五二五
常務 金井德治
取締役 日本橋、堀越二ノ三九

取締役 田口勝次郎
初木、安藤、堀米一二
同 武内利太郎
群馬、新田、島ノ郷新
野一二八
監査役 田口武雄
栃木、安藤、堀米九二

部長 金井德治
(前 堀)

代理部長 石井幸次郎
浅草、東三筋四四

代理部長 植野茂雄
市外、中野、圓三一二三

○營業部
部長 青木安五郎
千葉、東高師、南葛飾
小栗原一四〇

部長 井上清吉
市外、南千住 八六〇

代理部長 中川己之助
市外、大久保、東大久保
五〇一

同 福本市太郎
市外、中目黒 七六〇

主任 佐藤武次
下谷、上根岸 八二

主任 福本市太郎
(前 堀)

主任 加藤大輔
市外、下戸塚 五五六

主任 根岸政輔
日本橋、堀越二ノ一五

○中野出張所
東京府下中野町

所長 中川己之助
(前 堀)

代理部長 大關房吉
市外、花原、小山六二

○新宿支店

四谷區新宿三丁目
電話四谷(35)一八三二

支店長 陶山 佐十郎
市外、西巢鴨、池袋等

代理 相子 基次

新谷 行太郎
重野 太郎
奥山 誘二

○新宿支店新町出張所

府下淀橋町角等一七一
電話四谷(35)五八三

名波 佐次郎
坂本 英雄
佐々木 憲

○深川支店

深川區木場町
電話本所(73)五五二八

支店長 清水 俊二
代理 中神 與一

神定 春三郎
田中 敏夫

小澤 喜一郎
奥田 胖一
荒川 元徳
榎本 清
增倉 定次郎
武井 利雄

○淀橋支店

府下淀橋町柏木一五二
電話四谷(35)二四七〇

支店長 千ヶ崎 賢二
代理 土屋 尙次

柿崎 景勝
岩田 龜吉
井手 吉芳郎

株式会社 内國貯金銀行

當行は大正元年九月一日岩崎一、村上定の諸氏發起の下に相互式の組織にて資本金五拾萬圓内拂込貳拾五萬圓を以つて當時東京信託株式會社現今改稱日本不動産株式會社の傍系として設立せられたるもので創立當時は定期積立金を主とする銀行の性質上並に當時財界不況の爲め利益を擧ぐるに至らざりしも大正六年前山久古氏東京信託に關係するに至り業績漸くあらたまり爾來年々基礎鞏固となり暫時信用を加ふるに至り大正九年の不況及彼の大震災の大動亂に際會するも何等動搖なく殊に大震災の際には滿都の焦煙今尙ほをさまらざるに預金者に對し非常拂を行ひたる事は世人の今尙知る處なり尙ほ當行は現在資本金五拾萬圓拂込金貳拾五萬圓であるが新貯蓄銀行法により近く倍増資又は三倍増資の實行せらるゝ事であらう尙昭和五年十二月本店を現所に移せり五年末業績を管るに預金總額貳千四拾萬五千六百六拾八圓八錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金參萬四千參百五拾九圓八拾五錢を得之れが利益金處分方法は法定準備金五千圓特別準備金五千圓株主配當金(年壹割貳分)金壹萬五千圓後期繰越金九千參百五拾九圓八拾五錢である

株式会社内閣貯金銀行

東京市麹町区内山下町一ノ一

電話銀座(57)四八八九六
電話(四八八九七)

取締役

室田義文

監査役

青木正徳

神奈川、小田原、十字二ノ二八九
電話 三九

同男爵

本多政樹

専務

鈴木威

理事補

粕谷貴三

取締役

前山久吉

△庶務課

板谷薫憲

同

足立莊

△調査課

木田優

同

宮本甚七

課長

中村忠雄

足立知信

△預金課

課長 稻葉俊一

市外、入新井、不入斗
一二七八

早野瑞男

△貸付課

課長 南部勇

本郷、千駄木 五二

貝沼安

△計算課

課長 北村爲次郎

本郷、林 一七五

菅原懋

△出納課

課長 腰高龍輔

下谷、谷中上三輪南云

永田鐘之

當行は明治二十九年十一月十日の創立に係り本店を新潟縣長岡市に存し最初資本金五拾萬圓なりしも三十三年に至りて倍額の金百萬圓に増資し三十九年更に參百萬圓となし大正六年に及びて金四百萬圓同九年に金壹千萬圓に増資し大正十一年に東京榮銀行を併合せる結果資本金壹千百萬圓となし同年更に見付銀行を併合して金壹千貳百萬圓となし拂込金七百七拾九萬圓を有するに至りしも昭和三年に及びて大正十二年震災の爲め東京支店の貸出金參百八拾七萬五千五拾五圓が回收不能となつた爲め資本金を九百萬圓に減額し拂込金も百九拾萬七千圓餘を切り捨て、金五百八拾四萬貳千五百圓に減するの已むなきに至つた

株式会社 長岡銀行

株式会社 長岡銀行東京支店

東京市日本橋區大傳馬町二ノ二五

電話浪花(67)自六二六六
至六二六九

支配人

松田英次

市外、西巢鴨、庚申塚一
三七三

支配人

小野三吉

市外、大井、寺下一五〇

ナ 株式会社長岡銀行東京支店

△貸付課

主任 大崎男

神奈川、鎌倉、川口、
片瀬、赤山下二七四〇

△預金課

主任 白井覺太郎

市外、中野、千代田二二
五十嵐規矩雄

二一九

高村 俊夫

支店長

滋谷 省治

△爲替課

主任 寺田 武夫

廣川 九郎

小野 信男

市外、西葛場六四九

○墨戸支店

府下墨戸町二ノ九五

主任 金井 祥三

支店長

藤井 佐平

△出納課

細井 正太

市外、瀧ノ川、瀧ノ川

椿 幸雄

△精算課

主任 小林 幸造

堀本 文治

△庶務課

主任 中村 政七

市外、野方、上高田一三二

○早稻田支店

牛込區早稻田鶴巻町

一一〇

電話牛込(34)四〇六三

株式会社浦和商业銀行

當行は本店を浦和市に存置し明治三十三年四月の創立であつて支店を鳩ヶ谷、蕨、志木、東京府下板橋成増、練馬、石神井に設置し公稱資本金六拾萬圓内四拾貳萬圓の拂込である

株式会社 浦和商业銀行板橋支店

東京府北豊島郡板橋町七七〇

電話 大塚(86)一一一九七
板橋(86)一一三九七

主事 石塚 千松

内田 五郎

市外、板橋、金井窪二二

金子 盛造

埼玉、浦和、岸區二九〇

内田 國司

國谷 忠孝

杉山 定三郎

淺香 林藏

長谷川 延壽

野尻 三治

ウ 株式会社浦和商业銀行板橋支店

株式会社 野村銀行

當行は大正七年八月野村徳七氏等に依り創立せられ普通銀行業の外擔保附社債信託の業務を兼營し尙大阪本店及京都支店には貸金庫の設備を有し貴金屬有價證券等貴重品の保管を取扱ひ寄托者には重寶がられて居る昭和三年中には藤田銀行の支店の一部を繼承し更に昭和四年四月加島銀行第三次整理の結果山口鴻池銀行と共にその支店の一部をも繼承し從來の十七支店を三十一支店に改め十三ヶ所の出張所を設け大いに活躍しつゝあり五年末業績を管るに預金總額金壹億五千參拾六萬壹百七拾圓七拾五錢九厘にして當期利益金は前期繰越金を合算して金八拾六萬七千四百貳拾五圓四拾六錢を得之れが處分方法は法定準備金五萬圓別途積立金參拾萬圓退職手當基金金五萬圓後期繰越金四拾六萬七千四百貳拾五圓四拾六錢で行内に保留し内容の充實を期して居る

株式会社 野村銀行東京支店

東京市日本橋區通一丁目一番地二
電話日本橋(24) 一三三八一
一三三八二
一三三八三
一三三八四
一三三八五

取締役 西村 勝太郎
支店長 赤坂、臺町二四
電話 青山 三九八四
支店 市 村 勝 久
次長 市 村 勝 久
市外、中目黒一〇五〇

支店長

半田 清

同

柳澤 修

同

山本 精一

△預金係

西村 巖

市外、中目黒一二七五

菅田 正邦

川口 章

望月 銀作

白井 武郎

波邊 伊三郎

△貸付割引係

西村 和一

市外、東調布、下沼部

一〇三三三

株式会社野村銀行東京支店

△保管係

野 讚 郎

深谷 満造

△爲替係

宮地 隆義

牛込、月山二四大木方

井上 英丸

中島 俊藏

栗山 茂三郎

菊地 英夫

三浦 勝男

熊本 又治郎

福田 市郎

石塚 香郎

水谷 順郎

佐野 幸三郎

牛込、市ヶ谷藥王寺七

豊田 光春

松野 正夫

若菜 勝太郎

蟹谷 榮一郎

金子 政之助

高尾 壬子一

佐々木 睦二

古川 克己

△計算係

辻 敏雄

市外、下目黒五九七

水野 正男

小林 安夫

菅原 道三

△得意先係

前田 清

芝、琴平一三若林方

西澤清
△庶務係

青木寅雄
下谷中根岸

前田千三

石崎さだ

廣瀬公子

大野たまた

若狭秋子

泉清子

鶴淵みち

安藤竊子

高木鶴朗

鷺純孝

紺野勝三郎

上野森一郎

堀込保

○銀座支店

京橋區銀座三丁目
貳番地ノ八

支店長 大塚萬丈
電話 大塚 二七五六

支店長 吉田孝雄
市外、世田ヶ谷、下北澤
電話 八四〇〇

代支店長 岩崎光夫
市外、西巢鴨、池袋大原
電話 一四六八

大竹丈夫
(イロハ順)

岡田芳次
岡田一三
吉田祐造
高橋清夫
辻島隆爾
中島太西
野村康西
松平信義
古川邦義
水川信義
成田邦義
松本千代子

株式会社山口銀行

當行は大正六年三月十八日資本金貳千萬圓を以て創立せられたるも業務の進展と時勢に伴ひ大正十二年更に金參千萬圓を増資し公稱資本金五千萬圓拂込金貳千七百五拾萬圓の大を爲すに至つた尙昭和四年四月加島銀行第三次整理の結果同行本店及支店の一部業務を繼承し池田茨木高槻の三支店は從來より同地に營業する自行の支店に併合し加島の本店は南支店と合して順慶町支店として新設する事になつた五年末業績を管るに預金總額金參億五千七百五拾四萬四千八百五拾九圓四拾三錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金貳百六拾五萬七千八百五拾五圓拾貳錢を得之れが利益金處分方法は法定準備金參拾萬圓別段積立金拾萬圓役員賞與金五萬五千圓行員退職給與金六萬五千圓株主配當金(年八分)金壹百拾萬圓後期繰越金壹百參萬七千八百五拾五圓拾貳錢である

株式会社 山口銀行東京支店

東京市日本橋區本町三丁目二十二番地
電話(24) 一三五(5)長 四〇八〇
日本橋(24) 三九四七(宿直用)

株式会社山口銀行東京支店

支店長 丸川賢二
次長 登山録郎
電話 九段 二四七五
市外、西大久保 四九七
電話 四谷 二一八四

支店長 隔井 一

同 市外、野方、上高田三八
中村 八郎
市外、杉並、高円寺九三

△庶務係

天野 義作
赤坂、青山南五ノ三七
浦井 一
柳川 里次郎
正田 豊次郎

△貸付係

木谷 貞次
市外、浦野川、田端四四八
速井 義夫
風間 政雄
伊藤 勝治
阿部 三郎
宮川 榮

△預金係

佐藤 昌光
市外、大久保百人九二
石垣 健之助
小泉 倫之助
田中 鎮男
佐藤 浩
池井 信雄
堀江 静司
石川 五六

△出納係

松岡 義光
市外、蒲田、新宿五九五
清水 元基
平田 元武
佐藤 與四男
加藤 四郎
秋山 久元

支店長 網田 邦男

青木 岩次郎
小山 幸吉
坂井 市雄
片山 延市
住谷 一男
小泉 正輝
山口 忠雄
伊藤 幸次郎
高瀬 安彦
南 榮晴

△爲替係

服部 克己
市外、大久保百人三三
小川 源造
平尾 伸造
藤林 伊造
細谷 清七郎
篠塚 七郎

支店長 渡邊 綱一
市外、大井、北濱川二二
支店長 宮島 重義
市外、入新井、不入斗 一一九一

△貸付係

井上 治三郎
市外、代々木、山谷二三

△庶務係

山本 秀夫
山崎 久三郎

△外國係

松本 幸四郎
深澤 貞治

△爲替係

仁科 武雄
雨宮 勇
横山 省太郎

支店長 神村 一三

松尾 令一
小井 猛夫
横井 重夫
歌代 住一
加藤 正毅
須坂 徳次郎
外谷 慎二郎
三宅 啓次郎
加藤 多壽計
館國 勝允

△調査係

堀内 練一郎
市外、長崎、西原三七三

△検査部 (東京在勤)

高橋 要一
高村 寅三
宮森 和夫

△外國爲替係

渡部 廣正
市外、杉並、高円寺六五
堀尾 進
牛込、加賀二ノ三三

○銀座支店

東京區銀座四丁目
電話京橋(56)101(4)

支店長 古川 正博

△計算係
横濱、磯子、磯子濱五三
春山 福治

松尾 川九郎 忠

菅原 重兼 小野寺 正二

支店長 三善 執彦 代 市外、高井戸、中高井戸 二一

△預金係

向川 手謙 一榮

△計算係

橋本 喜代次 齋藤 豊藏 二郎

△出納係

田原 藤四郎 二

△調査係

齋藤 木七郎 夫

△出納係

外山 益次郎

△調査係

廣川 三代次 助

△出納係

廣木 益治郎

△調査係

笹原 武英 雄

△出納係

高橋 武俊 三夫

△調査係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

△出納係

小橋 喜與 美

○四谷支店

四谷區麴町十三丁目 電話(35)二六五〇 三三五九

支店長 信本 政市

支店長 池田 隆吾

代理 牛込、南橋 七

△調査係

森滋太郎 佐々木四郎

△出納係

高橋正彦 橋本權藏 山本岩夫 小穴至平 瀧澤運雄 鈴木錦雄

△貸付係

小林 太藏

△計算係

武田 保

△預金係

近江 幸平

△調査係

松林 幸夫

△出納係

井上 利夫

△調査係

伊藤 繁人

△出納係

永井 建雄

△調査係

大沼 進實

△調査係

齋藤 秀太郎

○深川支店

深川區門前山本町 電話(73)一一五八 一一四九 一一四四

支店長 長澤 隆三郎

支店長 田中 武八

代理 市外、池袋一二七九

△貸付係

加島 吉兵衛

△預金係

鈴木 正二郎 鈴木 新兵衛 齋藤 英雄 鈴木 武次郎

△調査係

阿部 幸至

△調査係

齋藤 英次郎

△調査係

鈴木 武次郎

△出納係

山田健治
川又 燕之允

△爲替係

金子原利治
柳津四郎

△庶務係

倉橋嘉平
米島榮司

△計算係

梅谷兼太郎
涌井清一
石井清一

○丸ノ内支店

總町區丸ノ内一丁目
電話(23)三三九二
丸ノ内(23)三三九二

支店長

田口耕平

代理

三井 淑

△調査係

野村聖彌
平田慶吉

△預金係

西海枝 潔
小林 健

△出納係

音無盛彦
清水春三
萬立一雄
中川滿雄

△貸付係

△爲替係

久米田七之助
三田村義雄

△庶務係

山口榮三郎

△計算係

小石川區大塚辻町
電話小石川(85)六〇四六

支店長

城谷一誠
市外西巢鴨池袋九一五

支店長

高橋元雄
橫濱、中、西戶部境ノ谷
一七〇一

○大塚支店

○横山町支店

日本橋區通鹽町
電話(67)一三五六
浪花(四六四二)

支店長

河村良一介

高橋古兵衛
市外瀧ノ川町中里一九一

駿河貞市
大木貞勝

船越長一郎
相原武夫

岩下源太郎
小林庄八郎

寺澤仙松
川島三男
佐藤秀一
相田義夫

坂内武二
武田修
渡邊春
鵜塚勝治
戶島長章
成島文造
大成島文和

株式会社 安田銀行

當行の創立の起源は遠く元治元年三月二日に始り先代安田善次郎氏が日本橋區人形町通りに兩替店を開き安田屋と號し開店せられたるを明治十三年一月日本橋區小舟町三丁目に資本金貳拾萬圓を以つて安田銀行を創設し相當産を爲すに至つて地方の破綻に頻したる銀行を手に入れては安田系とし其の數二十一行の多きに達するに至り先代善次郎氏長逝の後單に安田保全社に於てこの連絡を爲すのみにては隔靴搔痒の憾あるを免れず寧ろ各銀行の分散よりも合同統一の急務なるを認め之等銀行中の重なる安田第三外九行を合併して株式会社保善銀行を特設し更に安田銀行と改稱し我國五大銀行中の一つに擧げられ北は北海道より南は九州西は朝鮮に至る全國に亘り百四十一ヶ所の支店出張所を以つてその金網を爲し名實共に嶄然他行を抜く最大銀行と稱せられかくして現在公稱資本金壹億五千萬圓拂込金九千貳百七拾五萬圓と云ふ尅大なる資本金を有するに至つた五年末業績を管るに諸預金總額金五億九千拾貳萬四千九百貳拾七圓九錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金九百四拾貳萬四千八百貳拾六圓八拾九錢を得之れが處分方法は法定準備金壹百萬圓役員賞與金八萬圓行員恩給基金貳拾五萬圓配當金(年八分)金參百七拾壹萬圓後期繰越金四百參拾八萬四千八百貳拾六圓八拾九錢である

株式会社 安田銀行

東京市麹町區大手町一ノ六
電話九ノ内(23) 三四五一(10)
長(2) 三四五九(9)
三四六一(9)

頭取 安田善次郎
電話 麹町、平河六ノ一二 一五七五
副頭取 森廣藏
電話 芝、高輪南 四七
電話 高輪 一〇三
常務 兵須久
電話 市外、千駄ヶ谷、原宿 一七〇ノ八
電話 青山 七四四
同 國部 潛
赤坂、青山高樹三ノ七
電話 青山 一四七九
同 齋藤順三
市外、澁谷、永住一五
電話 青山 五五〇八

常務 濱田勇三
電話 大阪、西、江戸堀、上通 二ノ五〇
電話 大阪土佐堀 七四四
取締役 安田善五郎
電話 牛込、余丁 一〇〇
電話 牛込 二四三五
同 安田善四郎
本郷、駒込 林一八
電話 小石川 七七一三
同 竹内佛三郎
市外、巢鴨、上駒込傳中
裏二八
電話 小石川 二五八一

取締役 前田利定
市外、大久保、西大久保 四二一
電話 四谷 六〇七
常務 村田房之助
市外、西巢鴨、池袋七三
電話 大塚 一〇七七
監査役 安田善助
市外、大井 三〇六三
電話 高輪 六五三一
監査役 川西清兵衛
神戸、川崎 一一四
電話 兵庫 一六四
同 齋藤 恂
牛込、北山伏 四
電話 牛込 三〇八
○重役席
△秘書課
主 藤崎四郎
市外、下落合、目白文化 一六七號
電話 下落合 一一一

課長 濱田秀穂
 代理書記 市外、代々橋、幡ヶ谷二
 書記 岡本舜之助
 同 澤井賢太郎
 同 小柴謙吉
 同 松岡正次
 同 酒井信平
 同 田中俱志
 △検査課
 主事長 藤崎四郎
 書記 藤崎正男
 同 大久保半四郎
 同 松井貞吉
 同 安田久藏
 同 水溪文雄
 同 佐藤文雄
 同 猪飼香

書記 安部定太郎
 △審査課
 課長 鈴木福男
 書記 本郷、駒込、西片一〇口ノ一
 同 近藤勝
 同 武澤義二
 同 各務秀平
 同 高橋秀松
 同 富田秀夫
 同 山口英夫
 同 山本武夫
 同 加藤木武
 同 鈴木英夫
 同 瀧本武夫
 同 佐藤本
 同 岸己之
 同 天野禮
 同 目黒野

書記 繩手正雄
 同 高田利七
 同 磯部太郎
 同 鈴木四郎
 同 野田泰一
 同 原主
 △調査課
 主事長 山口經治
 書記 市外、世田ヶ谷、中原六四〇
 同 市外、世田ヶ谷、三六二
 同 橋本貞市
 同 市外、高田、雜司ヶ谷三一二
 同 細井藤兵衛
 同 本田清藏

書記 渡邊琢彦
 同 水町莊
 同 神喜代
 同 宮島忠夫
 同 木村夏雄
 同 土井道雄
 同 吉井虎雄
 同 須貝潔
 同 梅野實
 同 富樫善夫
 同 鳥海謙三
 同 小川勝次
 同 野川久保秀三
 同 渡邊綱廣
 同 坂間小三郎
 同 加藤信清
 同 大妻義之
 同 鈴木三郎次
 同 小山圭太郎

書記補 永野修治
 △金融課
 課長(兼) 高濱信男
 書記 市外、大井、瀧王子四六〇
 同 稻本廣吉
 同 古谷誠一郎
 書記補 吉村一郎
 △主計課
 主事長 河野恒三
 同 市外、馬込、清水窪三三三
 同 野坂良作
 同 (兼)書記 市外、馬込、東八九六
 同 細谷雅雄
 同 久保田信之
 同 阿部直
 同 安田直
 同 書記補 栗原茂

○庶務部
 部長主事 村上是助
 同 市外、布、電話、青山三四五八
 △文書課
 課長(兼) 村上是助
 書記 市外、(前)橋、神奈川、逗子、櫻山、廣地九五三
 同 渡邊義夫
 同 堀越正亮
 同 大池宗吉
 同 國府康敬
 同 大府康敬
 同 堀山勝利
 同 小森賢三
 同 廣江格一

書記 後藤 邦次
 同 鶴見 正彦
 同 富田 正夫
 同 元田 正昇
 同 大久保 昇
 同 內田 雄一
 同 川口 雄一
 同 木暮 一敏

△用度課

書記長 芝田 百太郎
 市外、東調布、下沼部 六八一

課長代理 吉江 雅三
 赤坂、青山南五ノ五
 書記 米加田 惟忠
 同 新山 信雄
 同 島倉 良文
 同 隈部 寅人

書記 渡邊 文雄
 同 向坊 勇三
 同 鳥元 兼之助
 同 秋山 剛

△貸付課

書記長 高濱 信男
 (前 掲)

課長代理 西宮 乾太郎
 市外、井荻、上井草二五九
 書記 田口 精一
 同 平賀 房一
 同 矢吹 敏雄
 同 齊藤 利忠
 同 松浦 恒吉
 同 溝部 五郎
 同 黒川 多可一
 同 齋藤 四郎
 同 四關 雄

書記 小山 三郎
 同 和久 和郎
 書記補 沼上 進太郎
 同 山口 龍吉
 △預金課
 課長 三橋 寬一郎
 書記 牛込、矢來 五九
 課長代理 石山 銀次郎
 橫濱、神奈川、上反町
 書記 長尾 綱吉
 同 山口 重枝
 同 高山 泰太郎
 同 高橋 泰太郎
 同 小田 隆二
 同 小梅 松吉
 同 小田 梅松
 同 安田 孝一郎
 同 中村 幹雄
 同 小林 幹一
 同 森光 隆

書記 本田 喜助
 同 富田 慎吾
 同 藤村 太吉
 同 橫山 巖吉
 同 青葉 文雄
 同 北島 忠兵衛
 同 鈴木 嘉吉
 同 青木 金三郎
 同 湯本 源一郎
 同 杉田 芳茂
 同 山田 捷英
 同 皆川 捷利
 同 太田 安次
 同 外山 實次
 △爲替課
 課長 笠原 茂太郎
 書記 藤田 源次郎
 市外、大井、南濱川二八

書記 丸山 一二郎
 同 遠藤 元次郎
 同 岩本 元次郎
 同 佐藤 文吉
 同 杉山 義雄
 同 眞谷 博之
 同 島津 愛之
 同 山崎 章之
 同 吉井 治兵衛
 同 成田 泰雄
 同 大塚 正一
 同 仁谷 正一
 同 鐵橋 憲治
 同 高橋 恭哉
 同 荒木 甚作
 同 田中 全太郎
 同 奧村 誠一郎
 同 眞崎 秀俊
 同 横山 彰

書記補 杉本光雄
同 藤澤治三郎
同 藤山格二郎
同 木下欣次郎
同 柏原公平
同 多田安太郎

○銀座支店

京橋區銀座一丁目
電話(56)一〇五六
京橋(56)五〇八七

支店長 渡邊實
書記 市外、國分寺、本多新田 四三二

支店長代 保坂時太郎
理書記 神田、小柳三一
書記 岩瀬美盛
同 森直美
同 田中義藏
同 石和田剛志

書記 松川優一
同 劉泉民
同 小野寺正
同 久野喜一
同 澤柳義三
同 相澤久孝
同 藤城武雄
同 八代金吾
同 野村知行
同 加納川實
同 及川茂
同 外谷喜三郎
同 中山本義
同 中川忠藏
同 大江敏
同 藤岡榮一

○築地支店

京橋區築地三丁目
電話(56)四三二〇

支店長 安川弘道
書記 市外、荏原、中延一丁目

支店長代 佐藤敏雄
理書記 市外、碑文谷、碑文谷二丁目
書記 益田武雄
同 野村武良
同 小笠原良
同 皆川定雄
同 中川靜男
同 井上友吉
同 鈴木信真
同 島川清夫
同 中村泰規
同 平林千秋

書記補 丸山東美男
同 西澤政義
同 布施祐一
同 大熊一
同 宮島廣治
同 中島清英

○九段支店

麹町區飯田町四丁目
電話(33)二九三〇
九段(33)二九三一

支店長 伊藤一郎
書記 市外、西巢鴨、池袋六丁目

支店長代 粕谷淨
理書記 牛込、横寺六四
書記 加來龍治
同 菅原克治
同 廣瀬俊也
同 五十嵐長雄

書記 石川泰吾
同 熊田宣隆
同 宇田川喜治
同 石橋孝三
同 服部喜久太
同 澤田章
同 伊藤廉祐
同 森悅吾郎
同 鈴木清一郎
同 鈴木清義雄

○神田支店

神田區佐柄木町
電話(25)八一七、三二八二
神田(25)三六五〇

支店長 那須長藏
書記 市外、品川、北品川七八

支店長代 米谷藤作
理書記 市外、澁谷、常磐松四五

書記 杉尾三秀
同 大野俊三
同 小松幸平
同 染谷一城
同 三上壽一
同 田口順平
同 高木榮一郎
同 山崎乙五郎
同 宮城忠康
同 九重和夫
同 菊地武嗣
同 會田純
同 門井文雄
同 田中延久
同 淺見延久
同 島本信夫
同 齋藤喜智
同 奥野春雄

書記 淺田 勳三
 書記補 關口 實清
 同 小西 實一
 同 梅田 襄一
 同 石原 靜右
 同 吉田 頼一郎

○櫻田支店

芝區櫻田伏見町
 電話(57)五〇七、五六五
 銀座(57)三三〇七

支店長 菅野 武夫
 書記 麻布、永坂 五六
 支店長代 村井 治之助
 書記 馬庭 作藏
 同 折井 雄次
 同 橋口 悅夫
 同 演口 文夫
 同 木戸 吉備夫

書記 岡宮 眞一
 同 土井 忠一
 同 服部 滿雄
 同 飯田 豊一
 同 今井 俊一
 同 今井 森之助
 同 土江 喜平
 同 片岡 直七
 同 青木 勇政
 同 中野 野政
 同 小野 野政
 同 山野 正三
 同 竹野 正三
 同 大野 正三
 同 井上 正三
 同 源田 正三
 同 工藤 正三
 同 土屋 正三

○芝支店

芝區三田同朋町
 電話(45)四四〇一〇
 三田(45)四四〇一〇

書記補 大關 憲二
 同 白土 英二
 支店長 八幡 熊三
 支店長代 櫻井 憲太郎
 書記 牛込、通寺 三一
 同 愛宕 通寺 三一
 同 吉川 良通 三一
 同 矢野 孝作 三一
 同 杉野 孝作 三一
 同 鶴岡 義夫 三一
 同 小川 義夫 三一
 同 佐藤 義夫 三一
 同 野村 義夫 三一
 同 日比 義夫 三一

書記 吉田 良利
 同 原田 政雄
 同 推名 綠二
 同 中林 經二
 同 中村 駒二
 同 小室 庸夫
 同 鈴木 木夫
 同 吉田 眞太郎
 同 井上 鐵太郎
 同 篠崎 演英
 同 桑野 元次
 同 河野 一資

○麻布支店

麻布區宮村町
 電話(36)三三四四
 青山(36)六一六八

支店長 柴田 謙
 支店長代 水野 一郎
 書記 麻布、市兵衛 二ノ六一
 同 野一 二四

書記 越智 康
 同 永田 胡定
 同 多田 胡定
 同 河邊 胡定
 同 中村 平定
 同 富取 七四
 同 竹內 昌四
 同 友井 茂
 同 佐藤 純一
 同 相良 正三
 同 船田 英三
 同 鴨田 邦三
 同 伊藤 榮三
 同 中川 高政

○青山支店

赤坂區青山北町六丁目
 電話(36)六二五四
 青山(36)六九四四

支店長 山田 誠之
 支店長代 山田 誠之
 書記 本郷、千駄木 三八

○四谷支店

四谷區傳馬町三丁目
 電話(35)二七四九
 四谷(35)三〇七三

支店長代 針谷 益司
 支店長 渡邊 豊
 支店長 麻布、飯倉片 二五
 書記 市外、荏原、荏原 二三三

書記 山中 榎次郎
 同 藤原 重雄
 同 田名 部重
 同 坂巻 義幸
 同 山形 郁二
 同 前川 義親
 同 押田 俊義
 同 林愛 太郎
 同 八景 春太
 同 菊地 長壽
 同 小寺 義雄
 同 伊藤 琢二
 同 千葉 正己

○牛込支店

支店長 淵上 甫一郎
 書記 市外、瀧野川、上中里三

支店長代 榮谷 藤一郎
 書記 神奈川、鎌倉、鎌倉大町 八九六
 同 垂井 朝明
 同 淺岡 六郎
 同 萩原 知三
 同 中井 助三
 同 武藤 良三
 同 渡邊 續三
 同 前田 俊太郎
 同 小野 千代三
 同 江尻 健三
 同 山本 健三
 同 石原 武夫
 同 牧原 尚武
 同 鈴木 初雄
 同 福井 爲市
 同 小林 一男

○小石川支店

支店長 水野 至
 支店長代 市外、荏原、池上、雪ヶ谷 六五八
 書記 更科 林二品
 同 森川 正一
 同 阪本 一郎
 同 江川 鐵次
 同 川合 康二
 同 輕海 貫一
 同 川松 貫一
 同 河野 豐信
 同 山本 勝藏
 同 間瀬 清次郎
 同 眞壁 清次郎

○本郷支店

書記補 山崎 弘三郎
 支店長 本郷區本富士町
 支店長代 電話(85)三六四八
 支店長 西澤 重明
 支店長代 市外、杉並、高田寺五元
 支店長 大塚 利雄
 支店長代 市外、荏原、馬込各中 一〇八二
 書記 麻見 昇
 同 中村 光藏
 同 石原 一英
 同 松村 滿雄
 同 飯田 東一
 同 渡部 俊雄
 同 本間 幸次郎
 同 南彌 太郎
 同 羽柴 菊衛

○下谷支店

書記補 卜部 達次
 同 松永 一
 同 江見 五
 同 山崎 健太
 同 奥山 健太
 同 録田 幹太
 同 二階 堂
 同 友光 禎
 同 大久保 長
 同 三島 君太
 同 土屋 君太
 同 關所 陽
 同 所居 善武
 同 福林 武
 同 小居 武

支店長 三橋 準
 支店長代 市外、杉並、天沼三七九
 支店長 池永 茂樹
 支店長代 市外、幡ヶ谷 八七二
 支店長 久保 田
 支店長 戸崎 潔
 支店長 吉野 松一郎
 支店長 池野 榮一
 支店長 北村 又
 支店長 辻野 宣太
 支店長 河野 宣太
 支店長 五野 宣太
 支店長 高橋 秀七
 支店長 中村 洋二
 支店長 原村 孝治
 支店長 滋谷 利夫
 支店長 清水 利夫

○千束町支店

清草區千束町二丁目
電話(84)五〇四一
淺草(84)五〇四二

支店長	倉垣 爲藏
支店長代	下谷、上野 櫻木 二三
書記	限本 義秀
書記	市外、井坂、上井 義雄
書記	四關 三郎
書記	石井 信次郎
書記	小倉 勝一
書記	田中 健一
書記	中島 三郎
書記	横田 三郎
書記	眞田 平吉
書記	野口 平八郎
書記	大森 二郎

○淺草支店

淺草區諏訪町
電話(84)三二一三
三二一四

支店長	小保方 祐藏
支店長代	淺草、諏訪 三藏
書記	太宰 孝吉
書記	小石川、大塚、坂下 允
書記	横井 澄男
書記	米谷 茂治
書記	星川 功治
書記	中野 銀次郎
書記	新井 三七男
書記	片岡 宗次
書記	野崎 季夫
書記	辻義夫

○深川支店

深川區黑江町
電話(73)五七四九
本所(73)五七九一

支店長	畑喜代次
支店長代	市外、荏原、大森、新戸 一八〇六
書記	石井 十嵐
書記	五十嵐 義雄
書記	光法 亮三
書記	藤田 健三
書記	井上 惠治
書記	吉本 九郎
書記	島田 安二
書記	宮崎 喜太郎
書記	大淵 泰三
書記	島田 瑞午
書記	森田 幸雄

支店長	田中 吉之助
支店長代	市外、大井、瀧王子 國吉
書記	青木 實
書記	高橋 義雄
書記	桑島 純一郎
書記	中山 喜一作
書記	瀬戸山 貫一
書記	小野寺 政直
書記	齋藤 賢三郎
書記	川口 寛郎
書記	柴田 勝次
書記	杉田 正治
書記	小野 清市
書記	天海 正雄

○本所支店

本所區東兩國四丁目
電話(73)四三三、六〇八
本所(73)四二六、七

支店長	金子 徹
支店長代	市外、大井 五三八八
書記	大熊 貫二
書記	埼玉、北足立、浦和 三三
書記	新家 元
書記	田中 勝元
書記	近藤 茂雄
書記	野原 信治
書記	廣瀬 亮
書記	堀江 堅
書記	傳田 忠
書記	前野 野
書記	西野 野
書記	菅沼 官
書記	白波 竹次郎
書記	笹目 達之介
書記	古田 幸次郎
書記	池田 勝之

○押上支店

本所區業平橋三丁目
電話(74)五三二一
墨田(74)五三四

支店長	木村 修
支店長代	牛込、市ヶ谷、河田 八
書記	大橋 藤雄
書記	久留内 徳藏
書記	風間 友吉
書記	皆川 久夫
書記	酒井 瀧藏
書記	大橋 義雄
書記	酒原 重七
書記	大波 新次
書記	難波 重七
書記	清水 申治
書記	秋山 定雄
書記	原田 俊二

書記 松田五郎
同 前越藤作
同 松下廉治
同 新井一八
同 永岡源太郎
書記補 宮本公道

○新宿支店

東京府澁橋町角筈
電話(35)二九九八
四谷(35)二九九九

支店長 海野耕平
書記 金子銳

支店長代 小安省吾
電話小石川四七七〇

支店長代 小安省吾
書記 金子銳

同 江場豊次郎
同 岸田知平
同 金子銳

同 波邊郎

書記

運加藤二郎
沼吉五郎
依田武夫
同 藤田重直
同 進藤英吉
同 古井壽一
同 阿浦實雄
同 三浦毅也
同 相澤也茂
同 木村孝行
同 木村孝行
同 竹內和二郎
同 麻生寬一
同 鈴木駒一
同 阿部慶夫
同 田部國男
同 矢上五郎
同 加藤秋次郎
同 布施信次郎

書記補

大瀧龜之助
今井清太郎
同 太田直雄
同 上原圭三
同 井上圭三
同 高地上文治
同 佐藤一治
同 小田木一郎
同 漆原清一郎
同 澤井又三
同 樋口博三

○千住支店

東京府南千住町八丁目
電話(84)二五九
淺草(84)三四五

支店長 伊佐復雄
書記 前田正一

支店長代 前田正一
理書記 市外、碑文谷、阿佐ヶ谷

同 市外、碑文谷、阿佐ヶ谷

書記 岩崎大熊
同 淺原和夫
同 山田七郎
同 梅村安二郎
同 朝尾良一
同 黒田嘉三
同 岡田卯三
同 中澤嘉明
同 谷合源次
同 石合源次
同 齋藤英次
同 鈴木重松
同 小澤重松
同 土谷信利
同 河原信利
同 山口信利
書記補 耕義治

株式會社 安田貯蓄銀行

當行は明治二十九年九月金城貯蓄銀行を稱し創立せられたるを大正九年二月安田系統となり名稱も安田貯蓄銀行と改め資本金百萬圓同年十二月金參百萬圓に増資し同十年六月金參百萬圓五千萬圓同十一年九月四百參萬五千圓同十三年十二月五百參萬五千圓拂込金貳百七萬貳千五百圓として現在に至る五年末業績を管るに預金總額金壹億二千八萬貳千七百拾五圓五拾壹錢にして當期純益金は前期繰越金を合算して金參拾七萬六千參圓九拾七錢を得之れが處分方法は法定準備金五萬圓別積立金拾萬圓行員恩給基金參萬圓役員賞與金壹萬貳千圓株主配當金(年六分)金六萬貳千壹百七拾七圓後期繰越金拾壹萬六千四百貳拾八圓九拾七錢である

株式會社 安田貯蓄銀行

東京市日本橋區本町二丁目十一番地
 電話(24)六四七 一九二五
 日本橋(24)六四八 一九二六

取締役 安田善四郎
 本郷、駒込 林一八
 電話(85)七七一〇三五
 小石川(85)七七一〇三五

取締役 安田善次郎
 市外、高田、雜司ヶ谷旭
 出四三
 電話 大塚 三四六六

取締役 菅原大太郎
 本郷、駒込 西片一〇
 電話 小石川二〇五五

取締役 安田善四郎
 市外、入新井、新井宿
 九八三
 電話 大塚 一〇二八

同 大泉哲
 芝、白金三光 四四五
 電話 高輪 八四七

同 麻井武雄
 小石川、原 一二
 電話 小石川三〇五二

監査役 安田善五郎
 牛込、余丁 一〇〇
 電話 四谷 二四二五

同 水上儀三郎
 市外、澁谷、青葉八

支配人 林常次郎
 市外、澁谷、北谷五
 電話 青山 六二五一

地方支店 木谷松治郎
 兵庫、西宮、市川尻三三
 電話 西宮 一四一六
 (大阪支店駐在)

○出納課

課長 旭井重左衛門
 市外、西巢鴨、池袋本村 一九八

橋本知春
 市外、淀橋、角筈二七五

松井貞雄

濱田徳三郎

安田要之助

石田初江

宇野喬

菅井榮一郎

大久保康三郎

○貸付課

課長 本尾玄藏
 神奈川、鎌倉、榑樂寺

杉山四郎
 市外、澁谷、松濤五

青木慎一

○預金課

課長 長谷川暹三
 市外、中野、本町通六ノ三

大津千丈
 芝、三田臺 二ノ四

遠藤三郎

藪田謙吾

横山三郎

細井治男

阿部普三郎

竹内太喜男

梅原幹子

松山菅治

安原哲郎

梅原綾子

淺野宅正

取締役 安田善四郎
 本郷、駒込 林一八
 電話(85)七七一〇三五
 小石川(85)七七一〇三五

同 安田善彦
 市外、高田、雜司ヶ谷旭
 出四三
 電話 大塚 三四六六

○代理店係

植松 泰三
市外、澁谷、原一九

田中 早苗
中村 鶴一

佐野 長照

福間 幸次郎

里見 金三

竹見 専三

岩橋 千代

有田 岩松

久保 丈助

八田 豊

津田 竹太郎

山本 鶴松

長谷川 彦三郎

加藤 喜之助

會原 辰五郎

關野 善郎

○建築係

横井 可治
市外、東大久保二三六

金子 由次

二宮 昇平

關盛 治

小沼 ちよ

瀧澤 八郎

○淺草支店

淺草區茅町一ノ七
電話淺草(84)四五八七

支店長 森 大次郎
市外、野方、上高田八四

次長 小泉 鶴吉
市外、世田ヶ谷、下北澤
四一三

土方 文彦

三輪 實彦

加賀山 俊彦

桑野 猛彦

○計算課

小池 永吉
市外、杉並、天沼二七八

荒井 孝太郎
市外、澁谷、宇田川通三

飯田 泰

山田 さなへ

宮部 まさ子

荒川 八重子

白岩 富美子

高濱 次郎

吉永 良仁

○調査課

田口 調輔
市外、杉並、天沼四六一

櫻井 武彦

大谷 丑之助
横濱、神奈川、六角橋
三六五

○用度係

古藤 眞平
市外、澁谷、伊達二八

天野 久子

伊東 芳恵

安藤 静子

中村 松江

山田 喜美子

片桐 謹吾
本郷、駒込林 一三

片桐 謹吾

山田 喜美子

中村 松江

安藤 静子

伊東 芳恵

天野 久子

○庶務課

濱田 政順
市外、馬込、霜田二二〇
電話 大森 二八〇三

久野 賢太郎

豊島 正臣

坂村 稔

松村 正俊

加藤 昌助

西田 隆吉

○本所支店

本所區石原町四ノ三
電話墨田(74)六七二

支店長 二階堂 哲朗
小石川、小日向台一ノ七

次長 阿部 徳三
下谷、竹 二五

野村 潤二郎
電話 下谷 四〇八六

○松枝町支店

神田區松枝町二
電話浪花(67)三三三九

支店長 板倉 東海男
市外、世田ヶ谷、代田
一〇七四

次長 平田 章

新藤 義夫

杉田 鎮一郎

本間 富雄

境井 俊夫

深川 區龜住町二九
電話本所(73)三五五

支店長 山本 正明
幸山 貞治

菅嘉 次郎

小宮 ちか

栗原 義郎

支店長 山岸 嘉二
牛込、市ヶ谷、仲之四

次長 小野 政治

赤坂 新坂七〇

横井 金一

加藤 竹雄

鹿島 輝三

有川 嶺里

崎詰 忠市

林田 三郎

坂原 美代

篠原 美代

支店長 山岸 嘉二
牛込、市ヶ谷、仲之四

次長 小野 政治

赤坂 新坂七〇

横井 金一

加藤 竹雄

鹿島 輝三

有川 嶺里

崎詰 忠市

林田 三郎

坂原 美代

篠原 美代

○千住支店

市外千住町三ノ一八
電話千住 二二五七
浅草(84)七二四七

支店長 山田 松太郎
次長 小林 貞武
小石川、東青柳 二四

○坂本支店

下谷區坂本町三ノ四
電話下谷(83)五四八三

支店長 竹内 信一
次長 笹本 清三
下谷、上野橋木 四五

○山谷支店

浅草區浅草町三三三
電話浅草(84)三五五五

支店長 大島 克己
市外、瀧野川、西ヶ原 一〇一三
次長 中 祖 雅夫
市外、日暮里、日暮里 一一〇四

矢田 勇次郎
森川 又雄
井上 徳三
赤羽 銚三
池田 六三郎
島田 隆男
中野 利男

○田島町支店

浅草區田島町六九
電話浅草(84)二七一七

支店長 西村 信造
市外、落合、下落合七突
次長 兵藤 健治
本郷、駒込神明三八

米山 哲男
富士 哲男
稻村 忠男
綱崎 八藏
木元 貞義
前澤 孝太郎
島野 達松
岸田 達司
柴田 信一
澤村 信一
清水 三井
角田 富美子

○龜戸支店

市外龜戸町二ノ一二六
電話龜戸(74)二六六四

支店長 小田 島精一
市外、世田ヶ谷、代田 六八一
次長 井上 覺三
市外、小松川 三ノ六四

○神田支店

神田區小川町二二二
電話神田(25)三七六二

船津 重美
岩松 義夫
佐久間 安雄
茂田 幸次郎
中野 繁松
遠藤 武男
石井 玉子

支店長 關 太一郎
市外、北千住、中組八瓦

支店長 石 渡 金太郎
市外、小岩、伊藤田三三

○本郷支店

本郷區本郷二ノ一九
電話小石川(85)六一七二

支店長 石原 彌之輔
本郷、弓一ノ八
次長 伊地知 軍司
小石川、龍籠二丁目川方
海老澤 条吉

○小石川支店

小石川區柳町二四
電話小石川(85)九二〇

支店長 安田 和重
四谷、傳馬一ノ三五
電話 四谷 二四三八

並木 幸次郎
岡田 三郎
笠井 つる子
高橋 敏夫
伊藤 清太郎
伊勢 村敏
伊勢 村敏
小 林 賀一
小 崎 玉、浦和 四一八七
出 脇 景行
羽生 武夫
松坂 時彦
尾崎 眞太郎
大 鷲 博芳
田 中 新一

○小日向支店

小石川區竹早町四二
電話小石川(85)八六六
支店長 宮川 豊

次長 太田 吉光
市外、代々橋、笹塚二〇七
市外、野方、上高田三二

山田 平八郎
宇佐美 武治
本 田 藤一郎
川 上 拾夫
佐 中 正東
田 川 信吾
行 川 信吾
堀 岡 賢造
内 藤 幸子
明 城 純治郎

○助坂支店

本郷區駒込助坂町三二二
電話小石川(85)五四一

支店長

入江 潤
市外、長崎、荒井一八六
次長 鈴木 木
市外、練馬四四一六

岡 本 六郎
外 江 謙次郎
千 種 靜江
千 葉 正雄
山 室 房子
若 杉 小壽
宮 杉 武雄
知 杉 武次

○巢鴨支店

市外巢鴨町巢鴨一ノ一四
電話 大塚(88)九八三

支店長 野口 康太郎
次長 吉田 將三
市外、西巢鴨、池袋大塚
一三八八
電話大塚(86)二〇九五

○池袋支店

市外西巢鴨町池袋
六二七

支店長 小林 二
市外、長崎、地蔵堂100
次長 佐藤 保二

○板橋支店

市外板橋町下板橋
六九二
電話大塚(86)三六九二

清水 末良
東京 鮮之助
櫻本 保太郎
支店長 藤沼 善廣
市外、杉並、天沼二二七
次長 吉野 良正
市外、板橋、下板橋三〇二
木暮 長九郎
相澤 彦市
千葉 忠平
近藤 信次
高橋 義雄
會田 敏夫
田中 一夫

○大塚支店

市外巢鴨町宮下一
七七七
電話大塚(86)二四七二

支店長 小島 林
市外、西巢鴨、池袋大塚
一三八八
次長 佐藤 保二
野村 政之助
村田 政之助
中澤 二一郎
西山 輝一
豊田 留己
桑原 シゲ
前澤 正
山口 久武

○王子支店

市外王子町大字王
子五五〇
電話 王子五八番

支店長 辛島 文彦
市外、大久保、西大久保
二六五
次長 中村 勉
市外、高田、雜司ヶ谷
四四二

田所 大
小島 眞一
高藤 孝夫
宇野 弘
伊澤 治男

支店長

竹内 竹藏
深川、始一ノ四
電話 本所 二〇二五

支店長 山上 啓一
市外、高田、雜司ヶ谷
龜原六一
次長 清水 熊男
清水 邊直
松岡 優夫
菊谷 哲一
鶴原 光雄
伊藤 光雄

○牛込支店

牛込區原町三ノ三三
電話牛込(34)五五八

支店長 坂口 勇造
牛込支店社宅内
次長 河野 通良
市外、大久保、西大久保
四七
久保 彦二

○四谷支店

四谷區傳馬町二ノ二〇
電話四谷(35)一九七二

支店長 齊藤忠信
 次長 澤田儀兵衛
 小石川、金富二二
 福井次郎
 大島義一
 石毛信喜
 林金次郎
 川村昇二
 鈴木實

○新宿支店

四谷區新宿二ノ七〇
電話四谷(35)二二〇一

支店長 石川兼吉
 次長 德間誠二
 市外、目黒、上目黒駒場七六〇
 波邊毅
 川里貞二
 坂念正
 松井清夫
 市原孝祐
 米山祖金
 賀川憲二
 雨宮
 松原ヒ
 引野通廣

○淀橋支店

市外淀橋町柏木二〇六
電話四谷(35)二八九三

支店長 原山啓一郎
 次長 望月三良
 市外、杉並、高円寺九六
 市外、中野、谷戸二四六
 光原潔
 渡邊松五郎
 岩本由喜男
 横山初太郎
 吉村正雄
 遠藤良夫

○澁谷支店

市外澁谷町上通三
ノ三八

支店長 吉川千太郎
 電話青山(36)一七八五
 市外、澁野川、西ヶ原七九七

次長 岡本忠勝

芝、三田、四ノ二
 野々村孝夫
 三島直志
 宇田俊雄
 柳澤堅二
 岸忠男
 熊谷啓一
 岡本孝二
 平塚ウノ子
 宮川辰之祐
 山田豊彦
 本間榮太郎
 橋本多三郎

○惠比壽支店

市外澁谷町下通四
ノ三〇
電話青山(36)一八七三

株式会社安田貯蓄銀行

支店長 永井充三

次長 千葉進
 市外、澁谷、向山五八
 支店社宅内
 本馬敏三
 深山光
 古賀慶藏
 内海清吉
 目賀田三郎
 白岩イホ

○大崎支店

市外大崎町下大崎
三二二
電話高輪(49)三九五九

支店長 後藤平治
 次長 高山文郎
 市外、品川、新宿四七
 小林志津雄
 愛敬

支店長 稻川廉三

福島利武
 船田福松
 勝田義郎
 伊澤五郎

○芝支店

芝區車町五
電話高輪(41)四六〇

支店長 彌富秀人
 次長 石原弘
 市外、大森、馬込霜田二三三
 青柳清
 大野龜太郎
 廣瀬武雄
 村地重夫
 岩橋孝文
 今野正彌

二六五

○白金支店

芝區白金臺町一ノ四六

電話高輪一五六一

支店長

埴田彌次郎

横濱、鶴見、鶴見、豊岡
二四七

次長

森茂

市外、大久保、百人四一

安田孝一

山下誠次郎

山口彌

太田島

渡邊幸三

寺尾隆良

堀部正雄

池田マサ

米林徳太郎

○麻布支店

麻布區新網町二ノ二

電話 赤坂一六六二

支店長

松田篤

次長

内藤俊介

市外、碑文、碑文〇二八〇

山口吉之助

横田三郎

石川保喜

金子正二

佐藤芳藏

○赤坂支店

赤坂區新町二ノ一一

電話青山(63)五三六七

支店長

鷹見善之助

市外、淀橋、柏木三一三

黒澤任

市外、落合、下落合三〇〇

西川信義

山崎正男

五十嵐益造

高田雄

安藤芳太郎

○京橋支店

京橋區銀座六ノ二

ノ十五

電話銀座(57)四四三一

支店長

金子好

横濱、中、南太田一〇三

大長 鈴木一郎

市外、碑文、碑文谷新
一二九四

木村忠雄

西村順吉

高橋剛

栗原武四郎

大原申三

○大井町支店

市外大井町倉田三四一三

電話大森三四一七

支店長

鈴木寛

市外、大井三四一四

次長

船田三郎

市外、入新井、新井宿
五八三

片山新藏

館内良一

島田政雄

内田政雄

若生忠

官島武

○大森支店

市外入新井町字不
入斗堀後三五〇

電話大森五三〇

支店長

岩田耕造

市外、入新井、新井宿
一三三八

電話大森一五(呼出)

次長

津吉秀世

深川常雄二ノ五

荻原英一

原鉄男

中村登野

池永勝

伊藤永

石澤俊一

須藤正太郎

長澤武助

千原博

養老善吉

高木正郎

株式会社 古河銀行

當行は大正六年六月に創立もられ古河系統の機關銀行として最始資本金貳百五十萬圓を以て創立し東京古河銀行と稱して居たが大正十一年七月古河銀行を改稱し大正十三年金壹千萬圓に増資し拂込金六百貳拾五萬圓を有し今日に及んだ五年末業績を管るに預金總額金參千參百八拾貳萬七千七百參拾四圓六拾貳錢にして當期純益金は前期繰越金を合算し金四拾參萬九千六百五拾五圓拾八錢を得之れが處分方法は法定準備金參萬圓諸準備金四萬圓不動産價格銷却基金參萬圓後期繰越金參拾參萬九千六百五拾五圓拾八錢で利益金はその基礎の堅實を圖る爲め毎決算期之れを舉げて社内に保留し居れり尙本行經營者たる古河家は足尾銅山を始め諸鑛山の經營の外に嘗ては古河商事會社をも經營し廣く内外貿易の事業にも從事して居た爲め當時その取引先及び一般商工業者の利便を計る目的で大正六年に個人經營の古河銀行を設立したもので最初貳百五拾萬圓の資本で初めたのが爾來順調の發達を遂げ現在の資本金は壹千萬圓拂込百貳拾五萬圓となつて居る然るに商事會社は先年廢止したのと且は時勢の推移に鑑み銀行業務の如きは一層大規模の組織でやれば格別左もなくば寧ろ適當の時期に廢止した方が宜いといふ考へで三四年來其機會を見て居たが今やその手順も連み預金全額支拂準備も整つたので本年上半期の總會終了を機といふよふ解散することにしたのであるそこで取引先の便利を計る爲めに多年商事銀行として健實に經營せらるゝ第一銀行に依頼して本支店とも成るべく同行の支店として引受けて貰ふこととし預金は同行に希望せらるゝ分文を引つぎ然らざる分は古河銀行に残し自分の手で處理して圓滿に解散する筈である古河銀行は現在本店の外に市内及郡部に十一ヶ所と大阪に一ヶ所の支店があるが第一銀行で支店として引受けない箇所は廢止して預金を拂戻し其店を片付ける積りである斯くして古河家としては今後は本業たる鑛山の仕事に専らする筈である

るゝ第一銀行に依頼して本支店とも成るべく同行の支店として引受けて貰ふこととし預金は同行に希望せらるゝ分文を引つぎ然らざる分は古河銀行に残し自分の手で處理して圓滿に解散する筈である古河銀行は現在本店の外に市内及郡部に十一ヶ所と大阪に一ヶ所の支店があるが第一銀行で支店として引受けない箇所は廢止して預金を拂戻し其店を片付ける積りである斯くして古河家としては今後は本業たる鑛山の仕事に専らする筈である

株式会社 古河銀行

東京市日本橋區濱戸物町四番地
電話日本橋(24)一二七一(代表)

監査役 官 澤 清 明
市外、井荻、荻窪本村
三二七

電話 荻窪 一二二

○業務部
部長 西 条 峯 三 郎
(前 堀)

副長 藤 田 幸 吉
市外、入新井、不入斗、四三
電話 高輪 一九〇四

○總務部
部長 西 郷 豊 二

○調査部
部長 岩 山 直 介
(前 堀)

電話 牛込 三三〇〇

頭取男爵 古 河 虎 之 助
牛込、若宮 三〇
電話 牛込 六二二九

常務 西 条 峯 三 郎
市外、澁谷、大山九
電話 青山 二七四三

取締役 中 川 末 吉
芝、高輪 南四六
電話 芝 四二二三

取締役 中 島 久 萬 吉
牛込、藥王寺 四三
電話 牛込 七〇六五

取締役 男爵

取締役 鈴 木 恒 三 郎
市外、中野、桐ヶ谷 二三
電話 四谷 九七〇

取締役 西 郷 豊 二
市外、澁谷、景丘 三六
電話 高輪 五三八三

取締役 岩 山 直 介
市外、入新井、木原山
一七八五
電話 大森 二四八三

監査役 工學博士 小 田 川 全 之
牛込、原 一ノ五七
電話 牛込 三三〇〇

副長 齋藤 太郎
電話 牛込 一八二六
電話 牛込 一八二六

○營業部
部長 櫻井 彌一郎
市外、大崎、白金七
電話 高輪 四九一五

副長 山田 謙二
市外、西大八、第一四六
電話 西大 四七二六

代理 工藤 勝三郎
横濱、鶴見、豊洲七〇七

△計算係
部長 伊藤 亮輔
市外、杉並、天沼三八四

△信用調査係
部長 西村 巳之助
市外、豊島、船場ノ木
一三一

△管理係

係長 大脇 昭一
市外、入新井、新井宿
五四八

△爲替係
係長 兼松 喜一
横濱、程ヶ谷、神戸下
六三六

△文書係
係長 竹内 精一
麹町、紀尾井三
電話 九段 二二四七

△出納係
係長 工藤 勝三郎
(前掲)

△預金係
係長 草野 義一
市外、千駄ヶ谷八三七

△保管係
係長 山本 正亮
芝、白金三光 二六三

△用度係
係長 丸山 龍一郎
市外、淀橋、柏木九三八

△審査係
係長 佐藤 謙
市外、千駄ヶ谷五九一

△検査係
係長 檜山 美與
市外、品川、北品川宿一
本木三八八
電話、高輪 一七四四

○行員
中村 德太郎

山崎 隆一

萬木 寛三

嶋村 寛之

林代 寛三
矢崎 約次
寺澤 辰二
辻益 次郎

三浦 末吉
牧野 四郎
岩佐 敏男
伊藤 政重
岩浪 五郎
西宮 元之助
佐藤 源三郎
向井 昇三郎
中野 昇三郎
高倉 長榮
小島 安幸
植田 弘幸
小田 切四郎
山本 正雄
富山 英夫
有馬 義光
原盛 光夫
早川 武夫
高橋 武夫

川地 信一
高野 寛吉
守安 莊三
原田 一三
小田 中雄
萩原 敏雄
河野 光雄
大河 征一郎
清田 泰一
土師 正義
佐藤 勝之
吉田 健一
伊藤 丑之助
古谷 義一
井上 金之助
酒井 清次
本間 貞夫
榊沼 秀雄

○三田支店

芝區三田同朋町一八
電話 (45) 四〇八五
三田 (45) 四〇八六

支店長 山吉直一郎
支店長 芝、白金三光 三三八
代理 西村 市太郎

横山 秀吉
北野 政儀
前田 義惠
中村 正義
細井 正夫
大石 義孝
大原 徳一
中川 徳夫
嶋川 武夫
松原 茂治
原田 治郎
木村 庸夫
菊地 芳

○元濱町支店

日本橋區元濱町五
電話(67)一五一五
浪花(一六八〇八)

高橋秋雄	若山勇悦	稻井清治
片田儀一	尾本義見	中野新井良
丹新井良	沖田寅之助	佐藤金之助
岩崎哲夫	島崎敬夫	福井知廣
中松村德藏	松村德藏	中松村德藏

○山谷支店

淺草區淺草町二三
電話淺草(84)一〇九六

田村茂次	大谷金次郎	川邊行雄
吉田喜一郎	鈴木幸三郎	大熊朝吉
鈴木幸三郎	鈴木幸三郎	鈴木幸三郎
鈴木幸三郎	鈴木幸三郎	鈴木幸三郎
鈴木幸三郎	鈴木幸三郎	鈴木幸三郎

○澁谷支店

市外澁谷上通二ノ四九
電話青山(36)一四六三

松丸盛治	古市敏雄	大倉秀文
平信三	佐藤三郎	小野不二男
川崎保	高野榮之助	友野健一
杉本好雄	加納好雄	安井浩
佐藤修	佐藤修	佐藤修

○三軒茶屋支店

市外駒澤町上馬一六一
電話(青山)一五二〇〇
電話(世田谷)三三二〇〇

田中安一	永井清二郎	渡邊龜之助
鈴木英二	長野祐義	相澤芳雄
渡邊秀	田中安一	田中安一

○品川支店

市外品川町南品川
二ノ二二〇
電話高輪(44)二四九六

小田川芳郎	小田川芳郎	小田川芳郎
小田川芳郎	小田川芳郎	小田川芳郎
小田川芳郎	小田川芳郎	小田川芳郎

7 株式会社古河銀行

○大森支店

市外入新井不入斗
電話(高輪)一八八八
電話(大森)九四八

申村富司	柴田貞一	酒井正治
阿部勝之助	藤野養之助	藤野養之助
井上武志	井上武志	井上武志
井上武志	井上武志	井上武志
井上武志	井上武志	井上武志

○大崎支店

市外大崎町谷山一三〇
電話高輪(44)四九五

島津泰輝	渥美登志男	前川正輔
打越秀雄	二神彰次郎	大平武章
吉田義武	吉田義武	吉田義武
五十嵐顯吉	五十嵐顯吉	五十嵐顯吉
酒井正憲	酒井正憲	酒井正憲

二七三

○千住支店

市外千住町仲町五三

電話(浅草84)一〇六六
千住二〇一六

支店長

古賀 賀 榮

支店長

會久次郎

齊藤育太郎

鈴木由太郎

千ヶ崎富吉

大川一郎

木島秋三

加藤辰雄

坂廻達孝

鈴木久藏

○本所支店

本所區石原町四ノ二
電話墨田(74)二九〇三

支店長

日比得三
市外、池上、徳持四二八

支店長

古川幸一郎

竹内泰

村川春雄

細川清司

羽田信一

三橋信一

井元源三

折原貞雄

鈴木壽世

○尾久支店

市外尾久町上尾久

一四三九

電話下谷(83)六二九二

支店長

平本六郎

支店長

白田福松

佐々木英藏

近藤健造

海川宗吉
田中吉五郎
高橋英男

株式会社府中銀行

當行は明治三十三年七月の設立に係り現在公稱資本金貳拾萬圓全額拂込済て地元有力者等に因り經營せられつゝあり

株式会社府中銀行

府下北多摩郡府中町九一八五

○國分寺支店

府下國分寺村二八四〇

支店長 小林龍三郎

取締役

桑田佑榮

取締役

福井阜太郎

取締役

矢島藤助

同

島田竹三郎

同

桑田英之助

監査役

野口泰平

同

鈴木忠亮

同

平井武藏

大越悦子
大場暢雄
岩浪卯吉
佐藤守

○八王子支店

東京府八王子市
電話七三六番

支店長

瀧島利三郎
市外、西多摩、青梅

並木昇三郎

根岸百一郎

飯塚隆一郎

生沼久作

寺澤榮二

山崎壽治

川鍋八郎平

○墨江町支店

府下西多摩郡墨江町
電話六番

支店長

橋本福次郎
市外、西多摩、青梅

小林美郎

田中靖也

瀧口常右衛門

○羽村支店

府下西多摩郡羽村
電話二〇番

支店長

石川善之助
市外、西多摩、羽村

戸田靖

宮澤庚子生

木下當年吉

○立川支店

府下北多摩郡立川町
電話二三番

支店長

宮崎莊二郎
市外、北多摩、立川

横田浦吉

岩崎忠一

杉浦政雄
埴野平三郎
大野米吉

○五日市支店

府下西多摩郡五日市町
電話三六番

支店長

林正美
市外、西多摩、青梅

戸田昌

宮岡芳雄

○氷川支店

府下西多摩郡氷川村
電話九番

支店長

栗原正之克
市外、西多摩、青梅

大久保治平

小峰正夫

大野森次郎

○成木支店

府下西多摩郡成木村
支店長 加藤筆三郎
市外、西多摩、成木

羽村治平

木崎嘉十郎

淵上環

○福生支店

府下西多摩郡福生村
支店長 並木新助
電話二番

市外、西多摩、西多摩

石川政一

原茂幾造

佐藤丈助

栗原英雄

○大神支店

府下北多摩郡昭和村
電話二一一番

支店長

澤井道之助
市外、北多摩、加住

福田時三

○東村山支店

府下東村山村
電話二七番

宮崎一作
市外、北多摩、立川

三上辰造

清水藤太郎

古山敏彦 寺田外海三 太田道四郎 齋藤湯太郎 酒井甚藏 下條榮藏 田中小次郎 田中隆 鈴木政隆 佐藤義晴 高木菊藏 安達為治 佐々木十郎 安西武雄

○池袋出張所

府下西果鴨町池袋
電話大塚(86)一七六

支配人

柳田嘉一郎

本郷、駒込林二一〇
電話小石川三四七五

柿原萬次郎 富樫勝一 奥野喜猛 上野喜市 關口豊貞

○京橋支店

京橋區寶町
電話(56)四六三四
京橋(56)四六三五

支配人

吉川亞周

神田、仲藏榮一 和崎啓三 芝、中門前二ノ十一

富岡廣明 門真文質 大和久憲

浦田治雄 島崎貞雄 遠藤將三 小澤竹三郎 齋藤一男 爲谷源一郎 本田頼永 本村正久 津田守夫

○日本橋支店

日本橋區新設町三
電話(67)二三四五
河花(67)六七六七

支配人

關口四郎

埼玉、北葛飾、櫻井、
屏風三二八

田島一夫 原正三郎

○板橋支店

府下板橋町瀧野川
二三九三
電話大塚(86)四二〇

支配人

伊地知剛

支配人

井上嘉雄

市外、西果鴨、池袋五三
中山忠男

沼田脩一 福原正藏 鈴木宇三郎 野原虎與喜 西山秀吉 古田治子

○千住支店

府下南千住町八丁目二十番地
電話淺草(84)六五五

支配人

河上清市

支配人

金澤薫

市外、南千住、千住南六
吉野好雄 青木利一郎 宮澤男 新井善次郎 中條喜奈雄

株式会社 藤本ビルフロアカー銀行

當行は大坂市に本店を有し明治四十三年三月資本金百萬圓を以て創立せられ大正七年七月金參百萬圓に増資し資本も銀行部と兼業部とに分轄し銀行部に金貳百萬圓兼業部に金百萬圓を振向け普通銀行業の外も相當勢力を有する銀行である五年末業績を管るに預金總額金貳百六拾萬參千壹百九拾壹圓參拾八錢借用金勘定金五千參拾貳萬參千貳百七拾壹圓五拾四錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金四拾萬七千壹百參拾壹圓四拾九錢を得之れが處分方法は法定準備金貳萬圓別途積立金壹萬五千圓恩給基金壹萬五千圓實與金壹萬六千圓配當金(年六分)金九萬圓後期繰越金貳拾五萬壹千壹百參拾壹圓四拾九錢である

株式会社 藤本ビルフロアカー銀行

東京支店

東京市日本橋區通一ノ四
電話(24)自二二三三三九
日本橋(24)至二二三三三九

○證券部

取締役 大島 三 橋
支配人 牛込、新小川 一ノ五
電話 牛込 二二八八
支配人 川 村 辰 二
代理 牛込、南橋 一一

支配人

野 上 孝 平
市外、神奈、神文符 二九

支配人

川 島 正 次
市外、高田、鎌司ヶ谷 一二八

伊 良 子 輔
松 井 良 雄
松 本 陽 吉
小 山 喜 三 郎
齋 藤 忠 郎
中 島 延 太
山 内 末 雄
岩 井 與 四 郎
三 松 秀 太 郎
小 橋 緣 郎
加 藤 朝 博
檜 井 治

取締役
支配人

○銀行部
内 村 保
芝、三田、功 一五
電話 高輪 三六四七

森 川 倉 太 郎
尾 中 竹 三 郎
中 村 敏 郎
藤 井 敏 行
竹 田 政 雄
松 島 敏 夫
星 島 武 三
反 町 三 九
佐 町 榮 次 郎
鳥 海 萬 壽 郎
伊 東 佛 二
横 田 辰 三
永 島 資 道
淺 井 武 一
小 島 清

株式会社 不動貯金銀行

當行は明治三十三年九月初資本金拾萬圓拂込金貳萬五千圓を以つて牧野元次郎氏等に依り創立せられ
 歐洲大戰中金貳百萬圓に増資し大正十五年倍額金四百萬圓とし更に倍額増資して金八百萬圓拂込金六百
 萬圓として今日に及びり五年末業績を管るに積金契約高金八億七千四百拾四萬九千貳百六拾五圓預金總
 額金四億六千壹百五拾壹萬六千參百四圓五拾貳錢にして當期純益金は前期繰入金は前期繰入金を合算して金貳百五拾五
 萬五千參百貳拾五圓貳拾五錢を得之れが處分方法は法定準備金貳拾萬圓滯貨準備金五拾萬圓行員恩給退
 職給與基金拾萬圓株主配當金(年八分)金四拾八萬圓定期積立者配當金四拾八萬圓役員賞與金八萬圓後
 期繰越金七拾壹萬五千參百貳拾五圓貳拾五錢である

株式會社 不動貯金銀行

東京市芝區宮本町三十四番地

電話(43)
 一三二〇
 一三二一
 一三二二
 一三二七
 一三二八
 一三二九
 一三三〇
 一三三一
 一三三二
 一三三三
 一三三九

取締役
 頭取 牧野元次郎
 電話 布、仲ノ一六
 電話 青山 二五〇四

主席常務
 取締役 牧野太郎
 電話 布、仲ノ一三三
 電話 青山 七三三四

常務
 取締役 牧野司郎
 市外、大崎、上大崎西ノ
 谷三三
 電話 高輪 七二二二
 取締役 安樂兼道
 四、行、南寺 九七八
 電話 四谷 九七四
 同 梅小路定行
 赤坂、仲ノ二一九
 電話 青山 三九〇〇

取締役 木村靖
 電話 町、永田 二ノ七五

△整理課
 課長 濱野初五郎
 (前 揚)

同 川口彦治
 市外、澁谷、下澁谷 二九三
 電話 高輪 五〇八一

△計算課
 課長 平野義太郎
 市外、大崎、上大崎 七一
 電話 高輪 七七六

同 柳井信治
 市外、目黒、上目黒 二五
 電話 青山 四四五〇

△會計課
 課長 淺野元範
 市外、四葉、池袋、本
 村三三三
 電話 大塚 二二六八

監査役 三上進
 赤坂、雲南坂 二一三
 電話 青山 六六七八

△秘書課
 課長 天沼熊吉
 市外、大井、出石 五一
 電話 大森 一七三一

同 中鉢美明
 市外、目黒、中目黒 九七
 電話 高輪 五九一八

△調査課
 課長 小山強次
 市外、大井、森前 六六
 電話 大森 一七三二

同 小野寺瀧次郎
 芝、明舟 一七
 電話 芝 二二五〇

△監理課
 課長 西村博隆
 市外、蒲田、女塚 二五二
 電話 蒲田 二二二

△營業課

課長 濱野初五郎
 市外、杉並 三五八
 電話 中野 一一四五

△庶務課

課長 小安章
 市外、上大崎、中丸 四七
 電話 高輪 三三三七

○日本橋支店

日本橋區本石町角
 電話(24)自 一一九一
 日本橋(24)至 一一九四

支店長

松岡幹吾
四谷大番一
電話 四谷 三三六三

○上野支店

下谷區上野公園前
電話(83) 三三二二
下谷(83) 一一七九

支店長

日野三知
赤坂、青山、南二ノ六
電話 青山 六〇九九

○兩國支店

本所區小泉町
電話(78) 五五七五
本所(78) 五五七六

支店長

平野甚四郎
市外、代々橋、代々木
電話 四谷 二六六六

○白山支店

本所區駒込曙町
電話(85) 三三〇四
小石川(85) 三三〇四

支店長

春山武夫
市外、澁橋、柏木九五二
電話 四谷 三六六〇

○九段支店

麹町區九段坂下
電話(33) 三三〇三
九段(33) 二二四一

支店長

野元熊太郎
四谷、大門二九
電話 四谷 一九六四

○乃木坂支店

麻布區新龍土町
電話(36) 五二二〇
青山(36) 五二二一

支店長

肥田規矩
赤坂、台六八
電話 青山 三六八三

株式会社小池銀行

當行は明治二十九年三月の創立と云ふ古い歴史を有し東京株式取引所仲買人故小池國三氏が半生を投じた同氏の遺業である最始は商業銀行と稱し手形仲買を主としたるがその晩年に至るや社債引受銀行と云つた證券銀行として一般の預金吸集には力コプを入れないが證券市場金融市場には相當重きを爲すに至つた最近證券部の事業を分離し別に證券會社を設立し普通銀行業に還元した五年末業績を售るに預金總額金八拾萬六千五百五拾七圓九拾壹錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金拾七萬五千四百六拾圓壹拾六錢を得全部後期繰越金と爲し無配當である

株式会社小池銀行

東京市麹町區丸ノ内一丁目
東京海上ビルヂング
電話(23) 自一〇〇二一
丸ノ内(23) 一〇〇二五

取締役

小池厚之助
牛込、市ヶ谷仲之一
電話 牛込 五五〇

常務取締役

小平三郎
麻布、新龍土六
電話 青山 四七七七

取締役

渡邊仁三
四谷、右京二一
電話 四谷 四〇九〇

取締役

田中隆吉
四谷、愛住三九
電話 四谷 四〇二七

監査役

塚越丘二郎
牛込、市ヶ谷仲之二〇
電話 牛込 四一二二

株式会社 鴻池銀行

當行は明治十年五月第十三國立銀行として資本金貳拾五萬圓を以て創立せられ翌十一年二月金五拾萬圓に増資し三十年三月個人名簿の鴻池銀行を設立し營業滿期となれる第十三國立銀行の業務を繼承し次で三十三年八月合名會社鴻池銀行に組織を變更し同年十二月金貳百萬圓に増資し四十年一月金參百萬圓に大正八年九月資本金七百萬圓にて別に株式會社鴻池銀行を創立し同年十二月合名會社鴻池銀行を之に合併したものであるが昭和四年四月吳商工銀行を合同し更に加島銀行第三次整理の結果山口、野村銀行と共にその支店の一部を繼承し同年五月十三日から自行の支店として營業する事となつた現在公稱資本金壹千萬圓全額拂込を有するに至れり當行は鴻池をバックに有するだけ總てが質實方針で消極の主義であるから従つてあふなげはない譯である五年末業績を管るに預金總額金壹億六千五百九拾壹萬五千五百五拾六圓貳拾六錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金四拾壹萬五千八百五圓六拾錢を得之れが利益金處分方法は諸積立金拾五萬圓行員退職給與積立金壹萬圓後期繰越金貳拾五萬五千八百五圓六拾錢で無配當である

株式会社 鴻池銀行東京支店

東京市日本橋區吳服橋一ノ三
電話(24)二二一六 二二一七
日本橋(24)二二一八 二二一九

支店長 北山喜一
支店長 市外、千駄ヶ谷五六五
代理 平野榮
市外、杉並、阿佐ヶ谷四六

支店長 菊池谷三
代理 水野舜一郎

- △調査係 杉浦眞平
- △爲替係 三瓶正
- △出納係 三橋勝藏
- △計算係 小山啓三郎
- △庶務係 吉田義雄
- △預金係 吉田義雄

○神樂坂支店

牛込區神樂町三丁目
電話牛込(34)六三〇

株式会社鴻池銀行東京支店

支店長 山本兼雄
代理 橋爪恒三

- △貸付係 橋爪恒三
- △預金係 杉山浩
- △爲替係 河村周三
- △計算係 河村周三
- △出納係 山崎晴夫
- △庶務係 橋爪恒三

○丸ノ内支店

麹町區丸ノ内一ノ六
海上ビル新館
電話(23)一四〇一〇
丸ノ内(23)一〇〇三九

- 支店長 齋藤鏞藏
- 支店長 下谷、中根岸三五
- 代理 篠崎文生
- 代理 本郷、丸山新三
- △貸付係 佐野文藏
- △預金係 中澤小次郎
- △爲替係 佐野文藏
- △爲替係 小野憲道
- △爲替係 沖野旗行

井 關 岑
尾 島 録 太 郎

岩 淵 達
千葉、東葛飾、八幡二亞

△計算係

○本郷支店

井 關 岑
尾 島 録 太 郎

本郷區本郷二ノ一
電話(85)小石川四〇

△出納係

支店長
代理

福 井 弘 一
京橋、船松河岸三塩原方

木 村 秀 雄
藤 取 德 美

近 藤 三 郎 次 郎
本 所、新 花 三 四

△庶務係

藤 崎 文 生

長 坂 爲 三
吉 堀 賢 太 郎

○青山支店

赤坂區青山南町六
ノ二六

永 山 良 男
池 田 信 良

電話青山(36)五六〇七

山 本 兼 雄
麻 布、竹 谷 一 〇

支店長
代理

増 田 充 治
市外、西葛飾、宮仲三三

株式会社 神戸岡崎銀行

當行は大正六年六月の創立に係り本店は神戸市に存置し云ふ迄もなく岡崎家の機關銀行にして最始船舶金融を主とし斯界不振に遭遇するや方針を變更し一般銀行業務を営まんと欲すれども依然として船舶金融類似の比較的長期の貸付即ち担保付手形貸付が多きを占め居り現在公稱資本金貳千萬圓拂込金壹千貳百五拾萬圓を有し今日に及んだ五年末業績を管るに預金總額金參千五百拾壹萬八千八百貳拾九圓六拾六錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金四拾六萬六千壹百四拾六圓七拾參錢を得之れが處分方法は法定準備金四萬圓退職慰勞金壹萬五千圓役員賞與金壹萬五千圓株主配當金(年四分)金貳拾五萬圓後期繰越金拾四萬六千壹百四拾六圓七拾參錢である

株式会社 神戸岡崎銀行東京支店

東京市日本橋區江戸橋一ノ一三
電話(24)一〇四〇一〇四一
日本橋(24)一〇四二二七九二

支店長

宮 川 正 治

支店長
代理

鈴 木 孝 久
市外、高井戸、大宮前二五

牛 込、矢 來 七 四
電話牛 込 四 七 二 九

株式会社神戸岡崎銀行東京支店

△調査係

係長 桐 野 佐 一 郎

沖 眞 登 平

△出納係

係長 志 村 常 藏

市外、千駄ヶ谷五六二
井 上 吾 六

秋山 義
京極 高武
新田 正路

綾井 和久
秋山 長太郎

△貸付係

係長 峰岸 成一郎
市外、大崎、上大崎三
松野 榮

△庶務係

係長 後藤 錠太郎
市外、杉並、阿佐ヶ谷
六八八

△預金係

相澤 磯 孝
津草、村木 一四

山田 健太

石山 祥一

鈴木 眞壽太郎
宇都宮 二郎

△精算係

係長 西口 虎男
市外、大森 一五八九

天野 重雄

△爲替係

係長 竹下 大助
市外、池袋、長谷戸二八

株式会社 鐵業銀行

當行の創立は明治三十三年四月にして文字通り鐵業同業者の機關銀行たり現在公稱資本金貳百萬圓拂込
金百五十拾萬圓を有し今日に至る五年末業績を見るに預金總額金貳百八萬壹千貳百八圓拾六錢にして當期
利益金は前期繰越金を合算して金拾叁萬百六拾七圓八拾錢を得之れが處分方法は法定準備金五千圓別途
準備金五千圓退職慰勞基金壹千圓賞與金四千圓配當金(年六分)金四萬五千圓後期繰越金七萬百六拾七
圓八拾貳錢である

株式会社 鐵業銀行

東京市日本橋區小傳馬上町二十二番地
電話浪花 (87) 四一三三九八

監査役 桑原 康之助
日本橋、小傳馬二ノ八
電話浪花 三三〇五

監査役 三崎 芳之助
神田、材木一〇〇
電話浪花六一六〇

取締役

井上 定次郎
小石川、若荷谷五〇
電話小石川 四三一七

取締役 佐野 菊次郎
日本橋、横山二ノ一六
電話浪花 三〇六〇

取締役

梅岡 正吉
神田、材木二八
電話浪花 三五五〇

取締役 梅岡 平七
市外、千駄ヶ谷、四六三
電話青山 一三六六

副支配人 鷗 茂
市外、大久保、百人三三

支配人 中村 盛司
市外、中野、原一六九三

予 株式会社 鐵業銀行

二九五

出納課長 山一 郎
 市外、駒込三四八七
 計算課長 平木 政 明
 市外、千駄ヶ谷、原宿
 一七〇
 中村 政 治
 埼玉、浦和三六四四、二
 有田 周二
 市外、北豊島、尾久三三三
 波邊 信 藏
 市外、王子、上十條二〇
 小竹 米 藏
 中田 増三 郎
 竹田 孝 治
 關口 三 郎
 齋藤 巖 藏
 瀧上 實 藏
 山田 敏 雄

株式會社 寺井銀行

當行は明治二十二年二月の設立に係り資本金五拾萬圓拂込金貳拾八萬圓にして寺井氏一族の經營である

株式會社 寺井銀行

東京市日本橋區通達町九・十番地
 電話 浪花(67) 八四三
 八四五 八四四
 八四六

取締役 寺井 源 吾
 日橋、通達、東河岸
 五號
 電話 浪花 二・三

取締役 寺井 源 吾
 日本橋、通達、東河岸
 五號
 電話 浪花 二・三

取締役 寺井 源 吾
 電話 浪花 六〇五七

監査役 佐志田 長兵衛
 神田、平永 一六
 電話 浪花 三九六
 四六七 四九

支配人 土屋 純
 本郷、駒込、動坂一〇五

△貸付係 寺井 源 吾
 (前 掲)

△庶務計算係

土屋 純
 (前 掲)

△預金係 佐藤 徳 藏

△出納係 大野 峰 晴

株式会社 愛知銀行

當行は本店を名古屋市に存置し明治二十九年四月の創立であるが之れは新設でなく從來存在した第三百三十四銀行と第十一國立銀行とを併合して資本金貳百萬圓を標榜して出現せし際は其の當時として驚異されたものである次で大正六年十二月東美銀行を合併して金貳百萬圓に増資し同七年五月には北方銀行、枇杷島銀行、大垣銀行を買収の爲め一躍金七百萬圓に増資し同十一年五月更に金壹千五百萬圓に増資し現在拂込金壹千八百拾萬圓を有するに至つた當行は中京三大銀行の一つとして創立當時名古屋銀行明治銀行と所謂三つ巴として互に鼎の輕重を問はれしも能くその一位を保ち今日に及べり現今東京市内に七支店を有し大に活躍しつゝあり五年末續業を營るに預金總額金壹億六千參百貳拾七萬參千壹百拾九圓拾八錢七厘にして當期利益金は前期繰越金を合算して金壹百拾七萬九千五百九拾七圓六拾錢六厘を之れが利益金處分方法は諸積立金參拾萬圓株主配當金四拾七萬貳千圓(年八分)役員賞與金參萬圓退職慰勞基金參萬圓後期繰越金參拾四萬七千五百九拾七圓六拾錢六厘である

株式会社 愛知銀行東京支店

東京市日本橋區通一丁目一番地
電話(94)一〇二八二 自一二八二
日本橋(94)一三五三番直線用 至一二八五

支店長 高橋 眞 男
牛込、市ヶ谷、富久一〇六
電話 牛込 三五六九
次長 伊藤 寅治 郎
本郷、曙 一九
電話 小石川 二八一七

支店長 川北 俊一
市外、入新井、不入斗 一二六五

同 安東 稻男
市外、和田堀、和泉八四

主任 富田 宏一

主任 大澤 利夫

主任 岩倉 勇

主任 菊地 宇多治

主任 川北 俊一

ア 株式会社愛知銀行東京支店

主任 竹内 源平

主任 飯沼 武雄

主任 木下 久之輔

主任 安東 稻男

主任 小川 俊

主任 水野 三郎

主任 津川 俣甲

〇 堀留支店

日本橋區堀留町二丁目
電話(67)二三三三
浪花(67)三三二八

支店長 佐藤 英三
市外、西果鴨、宮仲三三
電話 大塚 一四一三

支店長 嶋川 萬平
市外、中野、水川三

主任 石川 成一

主任 家永 豊次

主任 藤倉 良一

二九九

△計算係

前田 隆正

△出納係

赤松 弘要
塚田 弘

△庶務係

島田 銀之助

○八丁堀支店

京橋區八丁堀

電話(56)二八四
京橋(56)二八六

支店長

網本 源三郎

市外、澁谷、櫻丘、四
電話 青山 一六四八

支店長

太田 富士雄

市外、代々橋、幡ヶ谷八
三三

△出納係

支店長

江口 信義

市外、井荻、上荻窪二
九三

内山 菊次郎

寺澤 喜兵衛

伊佐 治一

羽山 龍雄

高木 和男

鈴木 龍男

朝長 瀧子

杉本 華子

○上野支店

下谷區東黒門町

電話(86)九四二一
下谷(86)五二二一

支店

佐藤 正雄

牛込、市ヶ谷、河田八
電話 牛込 三一五七

支店長

尾關 武男

市外、大崎、上大崎、長
者九二八三

△預金係

後藤 重一
渡邊 光男

△貸付割引係

高田 研一

△出納係

岩田 政市
窪寺 一郎
平野 銀次郎

△計算係

島田 秀一

△爲替係

杉浦 雄一
本間 周一

△庶務係

松下 明

○江戸川支店

小石川小日向水道
町三三

電話小石川(85)四九一七

支店長

廣瀬 清太郎

支店長

森屋 範治

市外、杉並、馬橋九八

岩本 正廣

三井 潔

横山 好文

根本 敬次

小薮 金吾

○千住支店

府下南足立郡千住
町本町一ノ五六

電話浅草(84)四四八八
千住(84)二〇七一

支店長

別所 喜夫

市外、日暮里、日暮里
一〇三五

電話下谷七〇五四

支店長

蒲田 清

小石川、宮下 五八

△出納係

山本 巖
久保田 邪太郎

△記帳係

萩原 美海
岡田 稔

△受付係

篠田 賢二

△計算係

竹内 幹夫

△庶務係

萩原 美海
竹内 幹夫

株式会社 足利銀行

當行は本店を栃木縣足利市に存置しその創立は明治二十八年十月にして兩毛機業地に地盤を有する關係
 上機業家の金融機關である當行は大川崎家の事業としてその營業方針の如きも元の川崎銀行式を發揮し
 飽まで堅實主義に終始し自然同縣下に於て重きを爲し昭和二年十二月埼玉縣羽生銀行を更に昭和三年四
 月同縣深谷銀行をも合併し現在公稱資本金七百八拾貳萬圓拂込五百參拾六萬圓を有し今日に及んだ六年
 上期業績を管るに預金總額金參千貳百九拾八萬九千六百拾九圓壹錢五厘にして當期利益金は前期繰越金
 を合算して金參拾參萬九千八百五拾八圓貳拾貳錢を得之れが處分方法は法定準備金貳萬五千圓行員退職
 慰勞基金參千九百七拾圓役員賞與金及交際費金九千圓配當金(年六分)金拾六萬八百圓後期繰越金拾四
 萬壹千八百八拾八圓貳拾貳錢である

株式会社 足利銀行東京支店

東京市日本橋區新乘物町十五番地
 電話(67)一六一〇七 六一一
 浪花(三三)三〇〇七

取締役 荻野 萬太郎
 電話 足利、通三ノ乙二六
 電話 足利、利二二一
 支店長 田口 廣三
 埼玉、北埼玉、村君、幸
 下村君二二一九

常務取締役

鈴木 良作
電話 足利、一ノ三三五三
電話 足利、一七〇

取締役

田村 彦七
電話 足利、通二ノ六〇七
電話 足利、一三四

常務取締役

鈴木 良作
(前 攝)

取締役

高梨 博司
麻布、三河台二五
電話 赤坂、一〇七九

取締役

田田 甚一
栃木、安藤、佐野二九
電話 佐野、七

支店長

石原 秀太郎
牛込、南橋、五七
電話 牛込、六二五五

同

田中 千代吉
宇都宮、境、六
電話 宇都宮、八一三

同

神田 源七郎
市外、大崎上大崎
電話 高輪、一四二三

副支店長

岩崎 伸平
市外、巢鴨、宮下一六
電話 永、敬二一

同

石崎 丈太郎
本郷、駒込西片一〇
電話 小石川、五六〇〇

同

川島 久三郎
足利、通五ノ三二〇四
電話 足利、三〇・八六〇

同

山口 得一吉
本郷、湯島三組八一
高井福方

同

中村 陸三郎
埼玉、北埼玉、井泉、宇
藤井上組五〇

同

關根 善作
赤坂、高橋、一二
電話 青山、七七一八

同

栗原 三喜三
小菅、益、夫

同

秋間 爲八
足利、伊勢、一一一一
電話 足利、一一一

同

田口 庸三
事務取締役
役部長

同

小菅 益夫
小菅、益、夫

同

大島 芳之助
足利、通五ノ二八〇
電話 足利、三二九

同

田源 七郎
支店長
支店長

同

河内 茂親
河内、茂、親

同

木村 茂七
足利、助戸仲四五三
電話 足利、一三・九〇〇

同

田源 七郎
支店長
支店長

同

大竹 善次郎
大竹、善、次郎

同

木村 茂七
足利、助戸仲四五三
電話 足利、一三・九〇〇

同

田源 七郎
支店長
支店長

同

橋本 近治郎
橋本、近、治郎

ア 株式会社足利銀行東京支店

大野 梅
高田 ふみ
稻村 淑子
佐藤 カツ
磯部 保
小見 準一郎

○調査部
支配人 定方 康吉
牛込、南横 二一
代理 榎本 磨佐雄
市外、日暮里、浅草(二)區
榎本磨信男方

○検査部
部長(兼) 神田 源七郎
(前 揚)
支配人 柳田 國治
本郷、森川 七六一
柳田吉三郎方

副支配人 中島 幸三
牛込、南横 四八

○東京支店
支配人 中島 傳十郎
神田、末廣 一二
相原己之吉方
福田 昇

支店長 長島 安三
本郷、駒込、千駄木 五五六
電話 小石川 四五〇五

支店長 小此木 和歌二
麻布、竹谷 一ノ七一
同 小堀 太一
市外、西巢鴨、大根原 三

△預金係
渡邊 昌治
福田 直哉

須藤 欣三
齋藤 正厚
米山 花枝
△割引貸付係 遠藤 三吉

△爲替係 阿部 道徳
村川 義男
中澤 隆治
波邊 さだ

△計算係 平田 盛孝
平瀬 均
落合 房三

△出納係 伊藤 熊之助
福島 義保
高橋 義雄

瀧野 榮
△庶務係 藤井 哲之助
△得意先係 依田 義文

株式会社 赤羽商業銀行

當行は明治二十二年十一月當地方有力者間に於て創立せられ現在公稱資本金五萬圓全額拂込である

株式会社 赤羽商業銀行

東京府北豊島郡岩淵町

取締役	澁谷 定次郎
同	澁谷 利三郎
同	澁谷 保雄
監査役	武田 幸吉
支配人	元木 邦三郎

株式会社 麻布銀行

當行は明治三十三年資本金十萬圓四分の一拂込を以て埴田爲五郎子爵本萩壽巨同板倉勝憲同鳥居忠文諸氏等主唱の下に設立されたるものにして大正十三年四月全額を拂込み今日に迫んでゐる當行も新銀行法に依つて早晚合併か増資か廢業かその一を選ばなければならぬ然し設立當初より附近商人及大崎目黒方面の居住者の一部を得意としてゐて過般の休業騒ぎに際しても蒙る處の影響少く大體に於て平穩であつた五年末業績を管るに預金總額金壹百四萬五千參百十六圓六十錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金參萬參千七百五十六圓四錢を得之れが處分方法は諸準備金五千圓配當金(年壹割)金五千圓賞與金參千圓後期繰越金貳萬七百五十六圓四錢である

株式会社 麻布銀行

東京市麻布區新網町二ノ七
電話 青山(35) 五九三五

取締役 埴田 爲五郎
電話 青山 三八二六

取締役 堀井 松之助
電話 高輪 五六九二

取締役 福岡 平右衛門
市外、北品川宿 一〇六
電話 高輪 一七九

監査役 安田 善次
市外、上大崎 五三八
電話 高輪 四二三八

支配人 鹽田 爲五郎
(前 揚)

株式会社 狭山商業銀行

當行は東京府西多摩郡箱根ヶ崎村にあり明治三十三年二月の設立である公稱資本金は七萬圓拂込五萬貳千五百圓であつて村内の金融機關として今日に至つてゐるが古き歴史を有しながら何等の業績なく規模小にして消極的營業を繼續せるに止り前途の發展は期待されぬ故に當局の態度もあり近く他行と合同するか乃至解散するか其の一途を選ぶ事とならう

株式会社 狭山商業銀行

東京府西多摩郡箱根ヶ崎村

取締役	細 淵 爲 吉
同	吉 田 榮 藏
同	村 山 平 三 郎
同	栗 原 千 代 吉
同	石 川 三 津 造
監査役	諸 江 吉 五 郎
同	岩 田 武 司

株式会社 三十四銀行

當行の起源は明治十一年四月第三十四國立銀行として資本金拾萬圓を以て岡橋治助氏等に依り創立せられ爾來その經營の方針宜敷を得たる爲め幾多國立銀行が經營難に苦しめられ政府を煩らはしたるもの多き中に當行は順調なる業績を辿り三十九年九月國立銀行として營業期間満了と共に組織を株式會社に改め更に同年九月百二十一銀行を合併し資本金貳百拾萬圓に増大し三十二年四月日本中立日本共同銀行を合併し資本金四百七拾萬圓と爲し多年頭取の重職に在り其の基礎を固めたる岡橋氏が辭任し小山健三氏代つて頭取の椅子に就き三十四年十二月には有魚銀行を合併して資本金を金五百萬圓となし越えて四十五年四月自行の發展と財界の趨勢に伴ひ倍額の金壹千萬圓となし大正六年十二月尼崎銀行を合併し更に増資の上大正七年三月には資本金貳千五百萬圓となり同九年五月には五千萬圓に増資し大正十五年六月攝陽銀行を合併し昭和二年には西六銀行を買收し現在公稱資本金五千貳百貳拾萬圓拂込資本金參千九百七拾萬圓と云ふ尠大な資本金を擁するに至れりその後關西實業界の大立物菊地恭三氏頭取に就任して今日に至つた當行は創立以來四十有餘年の歴史を有し些の失敗なく順風に帆の容ちてめき／＼名譽を擧げ關西に於ける一流銀行の巨擘として大活躍を爲し斯界の代表であると云ふも敢て過言にあらずかくして當行は益々將來を期待され後顧の憂ひは更々ない譯である昭和五年中昭和銀行日本橋松枝町麻布の支店を

○丸の内支店

總町區丸の内一丁目六番地海上ビル
電話(23)四九八〇
丸の内(23)四九八一

支店長 中村 央
市外、荏原、入新井、新井宿道免一八八〇

△割引係

木村 正

△預金係

貝瀬 久治

△爲替係

成田 捨三郎
山本 直次

△出納係

吹田 久一
新谷 昇吾
秋山 稔

△計算係

松尾 利二郎

△庶務係

牛澤 利一

○京橋支店

京橋區京橋三丁目四
電話(56)九七〇五
京橋(56)七〇一五

支店長

小林 泰三

支店

鬼頭 録三郎
千葉、市川新田一七二

支店長

森利 治
市外、蒲田、北蒲田一賣

△預金係

池田 亨一
土屋 秀雄
關口 謙治

△貨付係

鈴木 正五郎
竹内 正五郎

△割引係

川村 富之助
尾崎 繁松

△爲替係

原口 慶之助
野村 直一
中村 正一

△庶務係

宮部 良雄
雨宮 健次
川田 健次

△出納係

海老原 徳太郎
米谷 武三
高尾 次郎
原 豊静

△計算係

喜多 保富
文藏 寶富
平野 三郎
岩城 三郎

△調査係

山田 太郎
三吉 平藏
中島 正次

△庶務係

秋山 徳三郎
船曳 實雄
辻 かゑる

○八丁堀支店

京橋區本八丁堀五丁目登番地
電話(56)一一〇三一
京橋(56)一一五三〇

支店長

柳原 賢太郎
市外、代々橋、幡ヶ谷 三八八

支店長

三好 直躬
市外、西巢鴨、池袋五三六

△割引貸付係

青田 二郎

△預金係

横田 昇

△出納係

岡村 定雄
前田 一郎
片岡 秀雄

△爲替係

近藤 雅夫
佐藤 辰二
江島 廣次

△計算係

飯島 誠太郎
山口 武十郎
山口 武十郎

△庶務係

小倉 豊八
石井 榮二
太田 善一郎

○神田支店

神田區松枝町卅八

電話(67)一四八四七
浪花(67)一五三四七

支店長 米山 豊 蔵

市外、入新井、新井宿
一五一八

支店長 橋本 卯之松

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 海東 幹重

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 川上 純重

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 秋葉 順藏

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 加能 重次

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 藤井 正道

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 花輪 正義

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 加藤 榮太郎

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 寺田 正太郎

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 島田 直正

市外、瀧野川、西ヶ原三

支店長 竹村 正次郎

市外、瀧野川、西ヶ原三

○澁谷支店

澁谷町榮通一丁目
十七番地

電話(36)一〇四三
青山(36)一四二七三

支店長 柳原 賢太

市外、代々幡、幡ヶ谷
三八八

支店長 馬淵 信次

市外、蒲田、女塚一六〇

支店長 堀越 刻次

市外、蒲田、女塚一六〇

支店長 中橋 實吉

市外、蒲田、女塚一六〇

支店長 吉本 嘉孝

市外、蒲田、女塚一六〇

支店長 井坂 義行

市外、蒲田、女塚一六〇

支店長 角井 佳明

市外、蒲田、女塚一六〇

支店長 白井 文夫

市外、蒲田、女塚一六〇

支店長 永淵 文夫

市外、蒲田、女塚一六〇

岩井 君子

當行は明治十八年金原明善翁の創立に係る東里爲替店の後身にして明治三十二年に至り合名會社金原銀行と改め更に大正六年株式組織に更改し大正十三年には深川銀行を昭和三年十月一日芝銀行をも合併し資本金貳百萬圓内拂込金百參萬七千五百圓と爲し更に昭和五年淺田銀行支店の一部を譲受け創業以來四十有餘年を経たり昭和五年末業績を管るに預金總額金六百六拾貳萬五千參百貳拾七圓參拾參錢にして當期利益金は前期繰越金を合算して金參萬貳百拾七圓拾八錢て之れを後期繰越金爲し無配當である

株式会社金原銀行

株式会社金原銀行

東京市日本橋區北箱町五

電話 一三七一
日本橋(24)一三三六
一五七八 三五五一
三八一七

取締役 金原 巳三郎

芝、高輪北 四八
電話 高輪 一四二

常務取締役

金原 金二
芝、白金今里 八四
電話 高輪 六〇〇二

取締役 菅 元次郎

芝、芝口 三ノ一一
電話 銀座 三二七六

監査役 鈴木 信一

静岡、濱名、篠原、篠原

同 金原 舜二

小石川、竹早 一二四
電話 小石川 八三一

同 新島 宗三郎

深川、東 二

株式会社金原銀行

三一五

支配人 富田 浪

芝、高輪臺 三七
電話 高輪 四八七一

支配人 松平 諒 吉

主任 △貸付係 小石川、大塚坂下四〇

主任 松平 諒 吉

主任 (前 揚) 米山 巳之作

主任 △庶務係 鈴木 與一

主任 柴田 利雄

主任 日本橋、北橋 林通 殿 柿 豊 雄 二

主任 △預金係 中 芝、島 健 藏

主任 佐野 康

北 島 實

△計算係 中 村 光 雄

主任 渡邊 龍夫

市外、荏原、中延五五一

主任 中 安 廣 一 雄

主任 △出納係 横山 誠 一

主任 宮 津 義 正

主任 日本橋、北橋 酒井 駒 吉 五

主任 竹内 昌 吉 一

主任 △爲替係 梅 林 金 次 郎

主任 芝、白金今里 八四 千種 正 夫 大 山 哲

○築地出張所

京橋區築地三ノ一五
電話(56) 四三三七三

支配人代 田 亮 一

市外、蒲田、御園

北 村 政 次

早 川 勇 吉

内 山 善 治 郎

鈴 木 良 雄

佐 野 七 郎

和 田 恒 夫

○深川支店

深川區門前仲町一丁目
三ノ三

電話(73) 三三〇〇三
本所(73) 一四〇〇八

支店長 中 村 源 一

市外、入新井、下入斗
九三三
電話 大森 二〇八七

支店長 八木原 喜一郎

市外、西巢鴨、向原

杉 山 幸 作

多 々 良 晃

松 本 治 郎

原 田 勇 治

池 野 義 雄

山 田 義 雄

○洲崎出張所

深川區西平井町一五
電話本所(73) 三三六〇

主任 都 澤 慶 太郎

深川、松村、一三

大 久 保 賀 一

改 井 孝 一

渡 邊 敏 一

川 島 実 作

大 石 正

○西町支店

深川區西町二五
電話(73) 二四七七
本所(73) 三〇六七

支店長 金 原 金 二

(兼) 大 藏 且

支店長 伊 藤 直 吉

長 尾 喜 一

土 井 春 一

鈴 木 春 一

大 邊 良 一

内 山 善 吉

藤 田 三 郎

○本所支店

本所區江東橋三ノ四ノ三
電話本所(73) 四七三〇

支店長 土 井 英 太郎

市外、入新井、新井宿
一五五五
電話 大森 一八〇九

支店長 内 山 正 一

市外、井荻、下荻窪五

服 部 市 郎

中 西 廉 平

川 井 淺 太郎

森 政 一

加 茂 武 司

○芝支店

芝區櫻田伏見町一一
電話銀座(57) 三〇九一

支店長 岡 田 五 郎

芝、愛宕下 四ノ一
電話 高輪 一九六三

城 所 德 三 郎

鈴 木 重 彦

安 井 勝 太郎

茂田 定昌
太田 雄吉
作藤 勝三郎
木村 武夫
今井 茂

○中野支店

市外中野町中野驛
前一三

電話〔四谷(35)一六三三
〔中野 二一六八

支店長 富田 浪
(兼)

支店次長 宮崎 專之助
(前 揚)

横濱、神奈川、子安溝下
一八六四

支店長 瀨尾 良治
代理 理

市外、野方、上沼袋五五
日南田 儀三郎
大澄 源一郎
高師 虎二

○高圓寺出張所

市外杉並町高圓寺
九二八
電話 中野 二四四六

支店長代 井出 朝道
理 主任

市外、高田、雜司ヶ谷
一四二

今井 榮七郎
勝瀬 祿朗
山崎 一夫

○吉祥寺支店

市外武藏野町吉祥
寺二〇七七
電話 吉祥寺 一〇六

支店長 岩佐 頼太郎
市外、杉並、高円寺九六

支店長 原田 豊平
代理 理

市外、武蔵野、吉祥寺
二〇七七

江川 圭三郎
瀧島 梅太郎
大山 枝進一
山田 貞藏
秋元 貞藏

株式會社 有 信 銀 行

當行は本店を甲府市に存置し同地の有力者大木喬命氏等主唱の下に明治二十八年六月資本金參萬圓を以て設立された有信貯金銀行の後身である三十三年有信銀行と改稱し普通銀行業に主力を注ぎ其後數回に亘りて増資し又昭和三年十二月山梨銀行をも合併し現在公稱資本金貳百萬圓全額拂込みとなつた

株式會社 有信銀行東京支店

東京市日本橋區本石町四丁目十番地

電話 (24) 一九六〇
日本橋 (24) 一九六一

支店長 石 倉 勇 次 郎

市外、戸塚、諏訪 一 一 六

△出納係 三 枝 四 郎

△貸付、割引係

雨 宮 泰 亮

△預金係 鷹 野 榮 一

△爲替係

保 坂 正 行

株式會社 明 治 銀 行

當行は明治二十九年八月土地の有力者奥田正香、上遠野富之助、神野金之助、富田重助、鈴木惣兵衛氏等に依り公稱資本金參百萬圓を以て創立せられ明治四十年五月熱田銀行を合併資本金參百六拾萬圓大正七年二月瀬戸銀行と同年四月西尾銀行を合併して資本金四百六拾萬圓大正八年四月田原商工銀行を合併して資本金五百萬圓同年増資して金壹千萬圓となり同年十二月起銀行を合併資本金壹千壹百萬圓九年四月總津銀行を合併して資本金壹千八百八拾萬圓十四年二月近江商業銀行を合併して資本金壹千四百五萬圓となり更に壹千四百貳拾萬圓を増資し今日に及んだ現在内拂込金は壹千貳百參萬圓なり當行は名古屋愛知と並び稱せられ中京三大銀行の一を以て自他共に許され居るも名古屋愛知の創業以來順調の業績を辿りたるに反し大正三年中取付騒ぎの醜態を演じたるも萬全の策を講じ完全の支拂を了し之れが試練の賜もので却つてその基礎を固むるに至つたのは當局者の手腕努力に依つて整理を斷行し機宜の方策を誤らなかつたに依るものであらう五年末業績を管るに預金總額金壹億六百七拾五萬八千拾參圓壹厘にして當期利益金は前期繰越金を合算して金七拾七萬五千貳百參圓五拾七錢を得之れが處分計算は法定準備金拾萬圓行員退職給與基金壹萬五千圓役員賞與金及交際費金貳萬七千圓配當金(年八朱)金四拾八萬壹千貳百圓後期繰越金拾五萬貳千參圓五拾七錢である

株式会社 明治銀行東京支店

東京市日本橋區長谷川町一五

電話(67) 四八四〇 四八四一 四八四二 四八四三

支店長 秋本 統一

次長 生駒 重幸

支店長代理 木村 武一

同 鈴木 吉臣

同 赤坂 楡坂五

△爲替係

山路 幸次郎
市外、中新井、中新井三
奥八洲 男
北原 圭一

島村 俊彦

水野 惇一彦

本田 素彦

△預金係

古川 敬止

荒井 進一

寺井 正三

△出納係

水野 松太郎

大村 弘由

都木 武

△割引係

木村 武一

浦野 浩

前田 勇

△計算係

池田 律

△庶務係

小泉 賢三

管 是江

喜多村 喜代

岡 泰

△外交係

千葉 繁

市外、中新井、北新井

株式会社 三井銀行

當行は明治九年私立三井銀行として始めて銀行の體形を爲し明治二十六年商法制定と共に合資會社組織に改め三十一年に五百萬圓に増資し更に四十二年十一月には參千萬圓の株式會社に變更し爾來財界の進運と自行の發展に伴ひ遂に大正八年公稱資本壹億萬圓拂込金六千萬圓云ふ尢大なる資本金を擁するに至つた然し當行も矢張波亂の歴史を有し明治二十二年中上川彦次郎氏が入行時代は極めて苦境の巷を辿りしが中上川氏の努力で歩一步と整理の實を擧げ人材を求め之れに應ずるに和田豊治、波多野承五郎平賀敏、藤原銀次郎、藤山雷太。武藤山治、池田成彬氏等を採用し奮闘努力せしめ挽回に勉めたものである中上川氏歿後は故早川千吉郎氏常務にその女房役として池田成彬氏之れに當り行務の實際を掌握せしめ遂に今日の大盤石の基礎を造るに至つたのである特に當行の注目すべき點は自衛検査制度を有することであるその結果として遠隔の地にある支店の一些事をも精査し以て銀行全般に亘る疑を一掃せしめ得るのである斯くして内容の充實に不斷の努力を拂ひつゝあるは多とすべきである五年末業績を管るに預金總額金六億六千六百六拾六萬七千參百拾六圓七拾六錢にして當期利益金は前期繰越金を合算し金五百八拾九萬七千六百五圓拾七錢を得之れが處分方法は法定準備金五拾萬圓使用人退職慰勞金積立金五拾四萬貳千參百圓重役賞與金貳拾五萬圓配當金(年八分)金貳百四十萬圓後期繰越金貳百貳拾萬五千參百五

十七日であるが當行が今期突如二分の減配して八分としたので銀行界に少からぬ衝動を與へたやうであるが當期純益は前期に比して約五百五十萬圓を減少して居るが元來當行は株主配當準備金を金九百萬圓も持つて居る銀行として之れを崩せばこゝ二期や三期位配當率を維持すること敢て困難でないものであるそれを配當準備金の内から金壹百萬圓だけ戻入れてこの大英斷を爲したのは思ひ切つたやり方でその堅實味の程が窺はれる

株式會社 三井銀行

東京市日本橋區駿河町一番地
電話 (24) 1111 長 110(10) 2天丸 共
日本橋 (24) 1101 長 110(5) 1110 1107
1007 1007 1007

○本店
取締役 菊本直次郎
常務 赤坂、青山南六ノ一二三
電話 青山 二二五六
同 龜島廣吉
市外、目黒、上目黒九〇
電話 青山 五六三〇
同 今井利喜三郎
四谷、右京 一三
電話 四谷 二二三一

○本部
取締役 三井源右衛門
常務 小石川、水道 三五
電話 小石川 二〇〇一
池田成彬
麻布、永坂 一
電話 赤坂 二七五

常務 見城重平
市外、大崎、上大崎四
電話 高輪 二七五二
取締役 米山梅吉
赤坂、青山南六ノ一二六
電話 青山 二〇七一
同 原富太郎
横濱、中、辨天通三ノ四
電話 本局 四五七
同 福井菊三郎
赤坂、青山南六ノ一二六
電話 青山 一六七六
同 三井高精
麹町、平河五ノ二一
電話 九段 二〇七二

取締役 外山知三
常任 麻布、市兵衛二ノ一二
電話 赤坂 一三七三

監査役 山本龜光
四谷、仲三ノ三五
電話 四谷 三五九七

同 下田守藏
牛込、余丁 八六
電話 四谷 四一七六

同 大橋新太郎
麹町、上六番 四三
電話 九段 三三三三

同 岸本兼太郎
大阪、西、西長堀南通
二ノ五
電話 新町 二四七三

○文書課

課長 乳井龍雄
市外、大崎、上大崎四
電話 高輪 四一八八
代理 津田野敬一
市外、大久保、百人三三
電話 四谷 三一〇七

課員 菊地豊茂
同 菊地武方
同 大田恒太郎
同 柴田勝保
同 井山敏治
同 横山有治
同 日笠重二
同 波多野重郎
同 加藤民雄
同 豊田次郎
同 増田庄次郎
同 堤龍雄
同 出村寅良

課員 石波要藏
課長 森忠雄
四谷、内藤 一
電話 四谷 四三七九
代理 吉岡健彦
市外、大井、山中四三三
電話 大森 二五二九
課員 高島勝三
同 小池光太
同 桂俊真
同 澁谷誠一
同 穴戸豊莊
同 濱口辰吉
同 林精一郎
同 三宅春水
同 田中三郎
同 若菜金次郎
同 馬淵壽男

課員 阿部 清 弘 雄
同 綿引 喜 一
同 刀根 喜 一

○證券課

課長 下川 勝 治
市外、荏原、中延一〇七
電話 荏原 二九七四

代理長 田中 寬 治
市外、落合、下落合一六三
電話 大塚 三〇三五

課員 秋野 信 五
同 堀誠 六
同 青柳 清 之 助
同 高畑 球 磨 雄
同 大野 義 昌

入管中

課員 五井 常 太郎

課長 金子 堅 次 郎
市外、大崎、上大崎四三
電話 高輪 六四

○內國課

代理長 岡田 分 平
市外、野方、下沼袋二六四
電話 中野三〇四一

見習員 松田 利 正

○外國課

課長 小池 正 彪
小石川、小日向二ノ二
電話 小石川 六八八九

代理長 若林 祐 治 郎
小石川、駕籠 八八
電話 大塚 一八六二

課員 廣瀬 榮 太郎
同 井原 德 三 郎
同 櫻井 武 夫 郎
同 岡山 景 二 郎
同 本田 勇 男 郎
同 石川 彌 太 郎
同 海野 欣 也 郎
同 淺沼 光 太 郎
同 新庄 球 生 郎
同 築野 豐 晴 郎
同 青山 慶 二 郎
同 三宅 麟 太 郎

○檢査課

課長 小林 貞 次 郎
市外、澁谷、大和田八八
電話 青山 一一四八

代理長 宮原 佐 賀 之 助
麻布、富士見 四三

課員 關常 右 衛 門
同 久留 幸 吉
同 足立 健 吉
同 大森 秀 輔
同 小島 忠 勲
同 池田 政 雄
同 長南 新 一 郎
同 眞中 信 直
同 岩野 材 一
同 磯田 清 一
同 本賀 千 松
同 雜賀 廣 克
同 西村 元 吾

○調査課

課長 小原 喜 三 郎
四谷、右京 三二五

代理長 岩田 幸 美
本郷、駒込 二五

課員 上村 行 一
同 玉木 武 男
同 平井 諱 道
同 安富 曾 造
同 田邊 主 計
同 福永 末 次 郎
同 杏橋 掛 眞 郎
同 高橋 健 吉
同 泉山 三 六
同 森野 基 一
同 廣瀬 和 一
同 田中 健 三
同 岩井 光 義

○考查課

課長 橫田 浩
麻布、本村 二二三、廿七號
電話 高輪 六六五三

代理長 青木 萃 一
市外、代々木、富ヶ谷
一四九四

課員 內田 信 節
同 高草 忠 郎
同 上野 進 郎
同 池田 勝 雄
同 勝田 四 郎
同 行友 京 治
同 行友 京 治

同 係員 岡田 銜次郎

△輸出係

係長 李家 弘

係員 白井 正

同 西村 正

同 森島 梓

同 入江 傳

△輸入係

同 深川 朝

同 紀川 虎

同 入江 傳

同 森島 梓

同 西村 正

同 白井 正

同 李家 弘

同 鍾木 重

同 石塚 專

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

同 片山 嘉

三井式會社三井銀行

同 係員 岡田 銜次郎

△送金係

係長 高橋 剛

係員 飯島 剛

同 千坂 親

同 宮地 通

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

同 榎武 彦

三三三

同 係員 古田 平八郎

△貸付係

係長 西村 常次郎

係員 御酒 本三郎

同 堀井 正

同 南野 秀

同 山崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

同 塘崎 鐵

三三三

三三三

△預金係

係長 井上 芳一

係員 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

同 賀上 芳一

三三三

三三三

△計算係

係長 上橋 祐治

係員 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

同 和田 靜雄

三三三

三三三

△庶務係

係長 瀧澤 四郎

係員 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

同 石井 清郎

三三三

三三三

△計算係

係長 早水 守夫

係員 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

同 鈴木 文次郎

三三三

三三三

△預金係

係長 山崎 鐵

係員 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

同 堀井 正

三三三

三三三

△庶務係

係長 岩元 定

係員 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

同 大倉 辰男

三三三

三三三

△預金係

係長 伊藤 政一

係員 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

同 血藤 芳雄

株式会社 三菱銀行

東京市麹町區丸ノ内二丁目五番地

電話(23) 自二三三〇 自二三三〇
至二三三九 至二三三九
宿直用 三一 至二三三九

取締役 申田 萬藏

電話 麹町、永田一ノ二七
電話 銀座 一一八

常務 潮下 清

芝、車 七六
電話 高輪 一三二二

同 加藤 武男

牛込、市ヶ谷河田九
電話 牛込 長二八六一

同 山室 宗文

市外、池袋、向山一〇
電話 高輪 三三三四

取締役 岩崎 久彌

本郷、湯島切通
電話 下谷 二五六

取締役 岩崎 小彌太

麻布、鳥居坂 二
電話 赤坂 八八〇

同 木村 久壽彌太

牛込、辨天 七六
電話 牛込 三三九〇

同 丸山 英彌

市外、中野、小瀧四八
電話 中野 二一三八

常務 乙部 融

市外、入新井、新井宿
二三七〇
電話 大森 七〇四

監査役 青木 菊雄

市外、大井三一六九
電話 大森七六 高輪二六三

監査役 各務 録吉

小石川、大塚 二
電話 小石川 九六四

同 森村 市左衛門

芝、高輪南 三三三
電話 高輪 三三三

○本店

○總務課

課長 齋藤 教兼

本郷、眞砂 三六
電話 小石川 三一九七

副長 遠藤 伊三次

埼玉、浦和、外大辻、
荒苦一九九八
電話 浦和 六四四

△人事係

係長(兼) 務速 藤伊三次

事務 香川 銀平

(前掲)
神奈川、戸塚、戸塚三

事務 溝口 直次

同 岡下 進

同 加藤 金藏

信使 市川 安彦

△文書係

事務 後藤 龍一郎

係長 佐伯 清

事務 小出 武夫

同 横倉 源二

同 大橋 美枝

同 山口 さと枝

同 前田 壽榮子

同 大塚 千代子

同 赤田 芳枝

△株式係

株式会社三菱銀行

係長 長澤 里治

事務 四谷、花園 八八

同 篠崎 爲次郎

同 鈴木 恭藏

同 小野 秀聖

同 杉山 五十三

係長 市外、上月塚、伊勢原
八三八

事務 高田 達也

同 小石川、原 一六

同 田口 啓太郎

同 武川 眞吉

同 東村 盛吉

同 小倉 文助

同 村井 恒太郎

同 福島 榮一

信使 常世 田文太郎

△受付 古島 半弼

同 神田 新一郎

同 御園 生富

同 山崎 鍬治

同 横溝 藤作

同 白金 勇太郎

同 大熊 源太郎

同 愛甲 重太郎

同 玉木 重太郎

同 窪田 二郎

信使 柴田 五吉

同 野口 惣吉

△囑託 三浦 鍊二

市外、世田ヶ谷、下町
一〇三

○經理課

參事 田原良知

市外、瀧野川、中里三宅
電話小石川四二五〇

副事務長 赤間吉三郎

市外、上駒込、九四五

○計理係

事務長 猪瀬美計

下谷、南稻荷 三三

事務 大石源男

同 岡部直行

同 河原實

同 米山雪四

同 內山健三

備使 清水博

事務長 蛭澤友三郎

市外、井荻、上井草二六

事務 山崎嘉次

市外、吉祥寺一八

同 井上謙藏

同 鈴木正一

同 大塚三郎

同 丸山重藏

備使 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

同 丸山重藏

○外國課

參事 山口堅吉

市外、市ヶ谷河田九
電話牛込三二六〇

事務 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

同 水井利一郎

同 伊藤三郎

同 藤井三郎

同 加藤三郎

○監査係

事務長 前田永治

市外、池上、德持三八五

事務 高宮政吉

同 今福一雄

同 小池治一

同 由比光彦

同 大竹政一

同 齋藤猛

同 橋本正一郎

同 石橋正治

同 福田利男

同 佐々木馨

同 田口軍平

同 林忠一

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

同 武田秀雄

△業務係

事務長 中谷一雄

赤坂、青山南五ノ五一

事務 伊賀山榮三

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

同 矢野一郎

△投資係

事務長 蛭澤友三郎

市外、井荻、上井草二六

事務 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

同 蛭澤友三郎

△檢査係

事務長 江口健助

牛込、赤城下 五三

事務 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

同 江口健助

△業務係

事務長 向井輝志

本郷、駒込、千駄木五四

事務 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

同 向井輝志

△檢査係

事務長 鈴木清一

市外、青山、原宿一七〇

事務 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

同 鈴木清一

○調査課

課長 山室宗文
 事務取扱 (前掲)
 事務長 大西文一
 市外、碑文、碑文谷、原
 一ノ一二五七
 電話 荏原 三一六六

△信用調査係

事務長 藤城敬二
 市外、大井、出石五〇三
 事務 鬼頭壽丸
 市外、馬込、谷中一七六
 同 江口千代彦
 同 津末宗一
 同 保呂保三
 同 松室定夫
 同 吉川力

△經濟調査係

事務長 西堀英吉
 市外、田端三五
 事務 吉川新一
 同 印南英治
 同 町田一郎
 同 中野男次郎
 同 石塚重太郎
 同 荒井國太郎
 同 實藤武藏
 同 池田崎
 同 岡崎武豊

△常勤監査役附業務

検査課長 木崎造
 事務長 並木
 經理課副長 赤間吉三郎
 事務 勢
 検査課副長 布施公平
 事務 勢 (同)

○本店營業部

部長 丸山英彌
 市外、中野、小瀧四八
 電話 中野 二一三八
 副部長 西林幹助
 市外、中野、小瀧四八
 電話 中野 三一三二
 同 熊坂彌造
 市外、下善合七五三
 電話 大塚 二四五

部長代理

村上恒
 市外、澁谷、青葉通二〇
 電話 青山 七五八一
 同 吉田俊三
 市外、巢鴨、上駒込三三〇
 電話 小石川 五七六五

△庶務係

事務長 吉川利信
 市外、馬込、洗足三七三

△定期預金係

事務長 高島護
 市外、上落合六九四
 事務 古戸郁郎
 同 小池忠一

事務

同 福岡公次
 同 栗林茂夫
 同 神野三吾
 同 澁木直夫
 同 島根徳治
 同 川内宣雄
 同 篠塚義三
 同 使 篠塚義三

△特別當座預金係

事務長 平山清
 市外、蒲田、新宿二六〇

同 關宗一郎
 同 瀧井與作
 同 齋藤武夫
 同 佐々木通象
 同 秋山大輔
 同 水野禎吉
 同 石原貴一
 同 堀貫一

事務

同 桑村善助
 同 金子重男
 同 坪内博博
 同 澤田博
 同 使 志賀榮長
 同 事務長 谷口正作
 四谷、荒木 二七
 北通八號

△當座預金係

同 依田浩一
 同 西山重生
 同 眞木文吉
 同 飯田定吉
 同 桐島友一
 同 加藤淑男
 同 高橋忠夫

借使 横山 靖之助
同 寛 喜平
同 查掛 要一郎
入替中 大久保 信美
同 池田 榮
同 谷古 宇慶次郎

○本店外國爲替部

部長 鈴木 益三
部長代理 藤田 得太郎
電話 青布、宮村 四二
電話 青山 六五四九

副長(兼) 中村 恒久
(前 揚)

部長代理 藤田 得太郎
本郷、西片一〇ろノ八號

長(保兼) 藤田 得太郎
事務 (前 揚)

事務 岡塚 正雄
同 小泉 永太郎
同 佐々木 文綱
同 一色 大吉
同 若林 利造
同 鈴木 建夫
借使 武居 新治

△勘定係

事務長 横山 誠
事務 内田 新吾
同 河村 良彦
同 三浦 威一
借使 藤本 伸一

△輸入係

事務長 二宮 富士夫
市外、野方、新井六〇九

事務 田中正太郎
同 三木 順一郎
同 安藝 佛一
同 檜山 信彦
事務長 神田 十華
市外、中野 三三三五
電話 四谷 五八七五

○永代橋支店

京橋區南新堀二丁目
一番地
電話(56)七四〇〇、七四〇二
京橋(56)七四〇二
支店長 生島 利三
事務 本郷、駒込、東片一三五
電話 小石川 一八六二

支店長代理 安居 經市
市外、大森、馬込久保
七二七
電話 大森 二二七九

(兼)事務 大西 市太郎
市外、杉並、阿佐ヶ谷
七四六

○庶務係、調査係
計算係、金庫係

事務長 大西 市太郎
(前 揚)
事務 小野田 二郎
同 稻垣 徹治
同 村岡 則雄
同 中村 英男
同 田中 行雄
借使 深井 兼雄
スタイロ 篠塚 貞子

○預金係、爲替係、證券係

事務長 小松 喜一
小石川、水道橋一ノ三
事務 松林 敏
同 長井 村三郎
同 田部 省三
同 藤堂 重男
同 小川 泰三
同 渡邊 重慶
同 大野 文雄
借使 善野 亮一

○貸付係

事務長 近藤 安五郎
市外、淀橋角管九二
事務 山口 保榮
市外、大森馬込、谷中
一〇六〇
同 春田 康治

事務 小澤 達郎
借使 間宮 菊雄
事務長 兒玉 富雄
市外、淀橋、柏木一〇三

○出納係

事務 後藤 明道
同 原田 敏
同 玉置 武夫
同 田中 義一
同 金子 悦藏
同 百瀬 正行
借使 森近 治

○丸之内支店

麹町區丸之内一丁目六
東京海上ビルディング内
電話 丸之内(23)一一九一二

支店長 北 國 金 四 郎

市外、中目黒一〇六〇
電話 高輪 七五七六

支店 代 中 野 百 世

市外、代々木、外輪一
七三八ノ一七
電話 青山 二九三三

支店長代理 (兼) 事務 堀 田 豊

市外、世田ヶ谷、太子堂
三四九

○庶務係、調査係
計算係

事務長 堀 田 豊

(前 堀) 事務 德 弘 高 秀

事務 市 川 信 康

事務 金 子 忠 良

事務 人 見 信 政

借使 ストイビ 河 田 彌 二
收 野 才 み 子

○預金係

事務長 戸 田 五 郎

市外、大井一五八〇

事務 山 下 武 一

事務 山 崎 正 男

事務 余 語 泰 三

借使 瀧 澤 忠 雄

○貸付係、爲替係
證券係

事務長 橋 爪 雄 一 郎

市外、杉並、高圓寺
下屋敷五二七

事務 佐 藏 忠 雄

事務 浦 野 忠 雄
平 岡 眞 一
小 川 一 平
水 谷 善 雄
青 木 辰 彦

○出納係、金庫係

事務長 海 藤 忠

市外、瀧ノ川、田端一四

事務 松 平 慶 一

事務 安 達 勝 夫

事務 齋 藤 利 男

事務 宮 崎 弘 文

事務 犬 塚 民 助

借使 藤 井 喜 義

受付 (○) 長 谷 川 玉 三 郎

○丸之内第二支店

總町區丸ノ内二丁目二
丸ノ内ビルヂング内

電話 (二七〇三) 二七〇三
丸ノ内 (二七〇三) 二七〇三

支店長 三 村 彌 平

支店長代理 赤 赤、新坂 三六
電話 青山 三〇〇三 三〇〇三

支店長代 久 保 末 磨

事務 市外、巢鴨、上駒込一三
電話 小石川 五三六六

支店長代理 (兼) 事務 川 原 福 三

市外、下落合 三七〇

○庶務係、調査係、
計算係、金庫係

事務長 川 原 福 三

事務 林 眞 一

事務 田 屋 養 一

事務 柴 山 田 博

事務 速 藤 弘 一

事務 大 塚 榮 一

借使 ストイビ 名 雪 幸 子

○預金係

事務長 山 本 康 香

市外、千駄ヶ谷八七〇

事務 角 館 正 男

事務 野 口 良 一

事務 太 田 清 吉

事務 坂 部 悟 吉

事務 佐 藤 二 六

事務 門 野 雄 吉

事務 鈴 木 三 郎

事務 實 木 原 敬 治 郎

借使 山 口 四 郎

○貸付係、爲替係
證券係

事務長 福 本 榮

牛込、市ヶ谷、砂土原
三ノ八

事務 富 岡 忠 朗

事務 久 松 定 武

事務 田 實 涉 武

事務 中 村 萬 吉

事務 柳 田 武

○出納係

事務長 栗 原 貞 夫

事務 西 村 進 之 助

事務 出 口 輝 太 郎

事務 嶋 口 輝 太 郎

事務 芝 部 良 助 亨
 同 芦 田 爲 次 郎
 同 官 田 爲 次 郎
 同 小 保 方 廣
 同 渡 邊 久 二
 同 眞 砂 武 雄
 同 淺 田 幸 男
 同 成 川 秀 雄
 同 齋 藤 正 雄

○日本橋支店

日本橋區通旅籠町一四
 電話 (24) 二〇〇四一〇
 日本橋 (24) 二〇〇四二〇

支店長 島 田 誠 雄
 事務 市外、港行、上神泉九
 電話 青山 一九三一

事務 高 杉 晋 一
 支店長代 渡 邊 軍 六
 事務 市外、杉並、馬橋三七七
 電話 美奈見 一四六
 電話 青山 一五九八

○庶務係、調査係、計算係、金庫係

事務 鈴 木 照 嘉
 事務 黒 川 忠
 同 坂 原 芳 雄
 同 堀 倉 勝 雄
 同 菅 原 周 孝
 同 文 挾 壽 一郎
 同 上 奥 孝 次郎
 同 俵 康 孝 次郎

事務 岡 本 良 範
 同 鈴木 武 四 郎
 同 今 城 春
 同 今 城 春

○預金係

事務 及 川 清 資
 事務 市外、大井、出石五二三
 同 村 上 一 朗
 同 福 澤 時 太 郎
 同 清 水 準 一
 同 中 野 村 弘
 同 飯 野 陸 雄
 同 松 居 宗 武
 同 龜 田 豊 二
 同 齋 藤 大 象
 同 土 橋 善 一 郎
 同 鈴 木 作 兵 衛
 同 川 崎 精 氣
 同 和 氣 亨

○貸付係

事務 原 萬 吉
 赤坂、田 一ノ一五
 電話 青山 三五五九

事務 藤 田 佐 一 郎
 同 依 田 精 一
 同 細 田 健 一
 同 高 柳 文 之 祐

○爲替係、證券係

事務 井 上 正 夫
 市外、澁谷、伊達五六
 事務 楊 井 秋 亮
 同 横 山 宏
 同 野 崎 幸 藏
 同 名 和 克 己
 同 柳 瀬 喜 三

○出納係

三 株式会社三菱銀行

事務長

事務 森 可 修
 市外、砧、喜多見東ノ原
 電話 二五一
 電話 砧 一五〇

事務 江 坂 保
 市外、谷戸 二四七五
 同 伊 藤 忠 一
 同 鈴 木 勇 三
 同 保 倉 彦 造
 同 西 尾 清
 同 秋 葉 恭
 同 大 場 市 太 郎
 同 大 竹 計 一
 同 井 川 進 一
 同 市 橋 賢 二
 同 眞 中 英 作
 同 渡 邊 正 敏
 同 木 内 光 慈

受付

同 塚 越 嘉 一
 同 吉 田 喜 代

○四谷支店

四谷區傳馬町二丁
 目二六
 電話 (35) 三五〇五
 四谷 (35) 三五〇六

支店長 神 山 昌 臣
 市外、中野 九七七
 電話 四谷 二二二〇

支店長代 伊 達 筆 一
 市外、中野、一九六六
 電話 中野 二六〇一

支店長代 橋 爪 俊 夫
 市外、高田、雜司ヶ谷
 上ノ屋敷 一一一九

支店長代 橋 爪 俊 夫
 市外、高田、雜司ヶ谷
 上ノ屋敷 一一一九

事務 橋 爪 俊 夫
 市外、高田、雜司ヶ谷
 上ノ屋敷 一一一九

事務 橋 爪 俊 夫
 市外、高田、雜司ヶ谷
 上ノ屋敷 一一一九

事務 橋 爪 俊 夫
 市外、高田、雜司ヶ谷
 上ノ屋敷 一一一九

三四九

事務 伊東正之
牛込、市ヶ谷、各三九

同 竹内誠一

同 名倉大助

同 中村治子

備使 川村照子

事務長 日比重吉

事務 四谷、算術 七二

事務 山田武夫

芝、白金臺一ノ六二
電話 高輪一四五四

同 秋田孝四郎

同 臨村禮次郎

同 小野澤義勝

同 米田俊二

同 秋山豊雄

同 佐藤敏雄

事務 橋爪久美

同 菊池文雄

事務長 田中泰藏

事務 波邊誠

市外、大井、一五八〇

同 江崎武

同 相馬啓一

同 山口正二

事務長 一瀬敏

市市、井荻、荻窪
六三二

事務 本間太藏

同 上田耕平

同 寺田友之助

備使 滿永一太

同 藤井正貞

○受付
受付長 繩久四郎

○入管中
備使出川修次

○駒込支店
本郷區駒込富士前町七三
電話(85)二五〇三
小石川(85)四七六四

支店長 下田彦人

支店長代 江叶

支店長代理 德野梅次郎

(兼)事務 市外、入新井、新井宿
一〇四七

○庶務係、調査係、
計算係、金庫係

事務長 德野梅次郎

(前 揚)

事務 原喜一

市外、瀧ノ川、上中里
一三三

同 賀谷輝一

同 若林美正

備使 増山尚伯

事務長 井關忠敏

市外、千駄ヶ谷、種田
一〇四

事務 古川尚彦

本郷、春木三三ノ三九

同 森泰之

同 山田哲二

同 横山幸造

事務 八木松之助

同 清水武文

同 奥島八之助

同 長島八之助

備使 大森徳二

事務長 久保盛太

市外、戸塚、宮田三八七

事務 小林小三郎

同 鳥越吾三郎

同 高橋福太郎

○出納係
事務長 荒川次郎

赤坂、青山南五ノ四五

事務 田中尚二

備使 河合直太郎

備使 大河内清美

同 荒木一

同 鈴木伊助

同 浅野正治

○受付
受付 細川源太郎

○日本橋通町支店
日本橋區通一丁目七
電話(24)自二二〇一
日本橋(24)至二二〇五

支店長 春藤和

支店長 人見脩藏

市外、北品川、御殿山
七二八
電話 高輪 四三一

支店長代 大藪權一

支店事務 赤坂、櫻坂町二

○庶務係、調査係、計算係

係長(兼) 大 藪 權 一
 事務 戸 谷 桂 一
 同 關 田 小 藏
 同 谷 口 喜 代 男
 同 服 部 秀 清
 同 堤 藤 雄
 同 齋 藤 宜 輝
 同 岩 田 健 夫
 同 末 廣 定 子
 同 スタイビ 出 澤 ひ さ 子
 ○預金係
 係長 井 上 智 一
 事務 堀 孝

○貸付係、爲替係、證券係

事務 飯 岡 龍 吉
 同 福 永 傳 吉
 同 林 田 昌 四 郎
 同 島 崎 恒 太 郎
 同 喜 多 村 恒 太 郎
 同 鈴 木 良 輔
 同 河 野 良 輔
 同 薄 井 貴 六
 同 市外、高田、目白上り 屋敷三五七二
 同 澤 田 菊 次 郎
 同 藤 村 善 郎
 同 田 中 勉
 同 三 代 川 秀 夫
 同 向 山 金 三 郎

○出納係、金庫係

係長 志 賀 重 誠
 事務 河 田 慎
 同 市外、武蔵野、境五五〇
 同 上 山 道 雄
 同 戸 田 英 輝
 同 申 田 彦 一
 同 佐 藤 源 三 郎
 同 川 田 久 夫
 同 平 尾 吉 郎 右衛門
 同 上 國 良 秀
 同 坂 田 義 一
 同 井 澤 實
 ○入替中
 係長 坂 田 義 一
 事務 堀 重 夫

○築地出張所

京橋區築地四丁目一
 電話(銀座)57(四七八)〇

支店長代理 染 屋 芳 吉
 事務 下谷、谷中坂五一
 電話下谷五三九八
 同 増 尾 喜 兵 衛
 同 赤 坂、櫻 坂 三
 事務 森 井 良 助
 同 市外、碑文谷一
 同 大 竹 峰 太 郎
 同 瀧 澤 德 造
 同 浅 野 慶 喜
 同 借 使 中 山 一 榮
 ○神田支店
 神田區鍋町九番地
 電話(25)三五五〇
 神田(25)三五五一
 支店長 菊 池 貫 一
 事務 市外、澁谷、櫻丘五
 電話青山七四四六
 支店長代理 吉 田 信
 事務 市外、大井、鹿嶋谷三
 電話大森一一〇三

○庶務係、調査係、計算係、金庫係

支店長代理 坂 本 甲 午 郎
 (兼)事務 市外、巢鴨、上駒込三
 係長 坂 本 甲 午 郎
 事務 奥 本 静 二
 同 稻 村 壽 枝
 同 借 使 井 桁 省 哉
 同 五 明 英 太 郎
 同 スタイビ 清 水 常 子
 ○預金係
 係長 西 方 康 一
 事務 赤坂、青山北四ノ八四
 事務 川 添 昇
 同 本郷、駒込、上富士前七
 同 梅 原 誠 美

○貸付係、爲替係、證券係

事務 堀 峰 一 郎
 同 赤坂、檜 五五〇〇
 電話青山五五〇〇
 同 堀 越 震 六
 同 電話、中六番一
 同 電話九段一五三一
 同 借 使 中 原 虎 太
 同 宿 澤 止 德
 ○出納係
 係長 遊 谷 良 夫
 事務 市外、世田ヶ谷、代田 六七
 同 遠 藤 峯 三
 同 赤坂、田一ノ一五
 同 萩 原 正 太 郎
 同 西 川 精 治

事務 中島 喜代三
借使 荒井 一太郎
同 小野 貞一

○受付
受付 福本 綾太郎

○品川支店

市外品川町北品川宿
六五

電話高輪(44)六三六
七八三一

支店長 三 苦 忠次郎
事務 市外、世田ヶ谷、池尻
二二二

支店長代 大 岡 胖
事務 市外、西大久保一五六

支店兼代理 (兼)事務 佐々木 道三
市外、品川、北品川宿
二二五

○庶務係、調査係、
計算係、金庫係

事務長 佐々木 道三

事務 内田 道之助
(前 揚)

同 廣 瀬 繁二

同 松 島 三郎

借使 森 橋 政太郎

タイピスト 中島 ハナ子

○預金係、爲替係、
證券係

事務長 本 間 房二

事務 佐藤 信義

同 横 井 崇

同 鈴木 松三

同 小林 春男

同 森 竹 博司

事務 市毛 平三郎
借使 遠藤 昌吉

○貸付係

事務長(兼) 大 岡 胖
(前 揚)

事務 栗林 豊市

○出納係

事務長 池上 愛之助
市外、荏原、中延一四〇

事務 大野 俊三
市外、澁谷、櫻丘六

同 白 井 汲 廣

同 和 田 道也

借使 高野 政嗣

同 小池 孝太郎

同 久我 水博

○受付
受付 官崎 勉

○大森支店

市外入新井町新井宿
字八景坂二二七〇

電話高輪(44)二八一九

支店長 齋 藤 一 翁
事務 芝、白金台一ノ五九
電話 高輪 三一九二

支店長代 理 事務 稻垣 精一
市外、北品川 二二五

○庶務係、調査係、
金庫係

支店長 (兼)事務 稻垣 精一
(前 揚)

事務 村上 忠二

同 小林 英一

○預金係
事務長 高 瀬 平次郎

事務 星 野 新八

同 濱 崎 平八

同 吉 澤 正 美

同 杉 山 臣 吾

○貸付係、證券係、
爲替係、計算係

事務長 谷 道 金 一

事務 小 林 勇

同 家 中 利 夫

同 小 尾 忠 義

○出納係
事務長 西 純 友
市外、北蒲田一三八四

事務 窪 田 三郎

同 千 葉 慶四郎

借使 金子 倍四郎

同 中 野 成

同 田 中 榮一

株式会社 七十七銀行

當行は明明十一年宮城縣の増田繁幸、亘理隆胤、松前廣致、後藤充康、氏家厚時、河田安照、須田平左衛門、中島信成氏等に依り發起せられ偶々第四十六國立銀行の創立發起人遠藤佐藤氏等の計畫を聽き寧ろ協力その業務の堅實ならん事を期するため數次協商の結果遂に合同して明治十一年十一月七日資本金貳拾五萬圓を以て第七十七國立銀行と稱し營業を開始し明治二十六年には資本金五拾萬圓に増資し三十二年金百五拾萬圓に大正八年に至り時勢の進展に伴ひ業務擴張の意味にて一躍金五百萬圓更に現在公積資本金七百萬圓拂込金參百七拾萬圓を有するに至れり五年末業績を管るに預金總額金五千五拾四萬六千八百八拾五圓四拾壹錢五厘にして當期利益金は前期繰越金を合算して金貳拾五萬七千五百八拾四圓拾五錢を得之れが處分方法は法定準備金六萬圓行員恩給金四千圓役員賞與金八千圓配當金(年五分)金九萬貳千五百圓後期繰越金九萬參千八百四拾四圓拾五錢である

株式会社 七十七銀行東京支店

東京市日本橋區南茅場町
電話茅場町(66)二二二八
電話高輪一九六〇

常務取締役 木村清五郎
兼 支配人 市外、大崎、上大崎七〇
電話高輪一九六〇

副支配人 森井吉三郎

神奈川、鎌倉、小坂山ノ内八二九

大崎多一郎

京橋、新高七ノ一
電話京橋三八〇九

支店長 岡源治郎

麻布、市兵衛二ノ六一

△貸付係

小野尙志

秋山武隆

荒井隆

△預金係

伊澤平和

植地成和

伊澤信平

飯室操

米倉ノリ子

△爲替係

小野總三郎

青木豊吉

△取立係

藤村辰雄

△出納係

齋藤重徳

二木尙一

嶺茂生

(交換方)

荒井隆

神信行

太田元治

△用度係

齋藤重徳

鈴木政次

○東株出張所

森井吉三郎

阿部壽治

旗本香一

原田壽輔

山本善三郎

波邊景吾

菅野勝雄

室井清太郎

株式会社 下野中央銀行

當行は栃木縣下の銀行を合同し大正十四年二月現在の名稱銀行を創立しその本店を宇都宮市杉原町に存置し現在公稱資本金壹千五百九萬五千圓拂込金五百五拾四萬五千貳百五拾圓を有し今日に及んでゐる

株式会社 下野中央銀行赤羽支店

東京府北豊島郡岩淵町赤羽
電話 赤羽四番

△計算係
係長 水野正明
市外、岩淵、赤羽四〇六

支店長 古田和平
宇都宮、四條九

係長 渡邊好雄
市外、岩淵、赤羽一三二

△出納係

係長 鈴木榮一郎
市外、岩淵、赤羽
齋藤善三郎

△爲替係
係長 加藤正男
栃木、塩谷、北高根澤
桑野五一

△倉庫係

係長 石井晋次郎
市外、岩淵、赤羽一四〇

△預金係
係長 北野孟雄
市外、岩淵、赤羽三七七

△貸付係

五十嵐彌一郎
石川泰一

株式会社 十二銀行

當行は本店を富山市に存置し明治十年七月の設立に係り公稱資本金壹千萬圓全額拂込済にして高岡市魚津町伏木町新湊町氷見町福光町東京大阪石川福井北海道等に支店を有し富山縣下に於ける代表的銀行である

株式会社 十二銀行東京支店

東京市日本橋區通二ノ七ノ四
電話 日本橋(24) 三三一一七七一

△割引係

主任 寺田爲次郎
大間和榮一郎
安田定治

△庶務係

主任 稲野作
中田常保

支配人 奥野要吉郎
日本橋、通二ノ七
支配人 寺田爲次郎
市外、淀橋、角管三七三

△爲替係

主任 河合邦吉
黒崎

△預金係

主任 稲野作
朝日 鷲太郎

△出納係

主任 吉澤宗平
川越光國

△計算係

主任 寺田爲次郎
中田常保

株式会社 十五銀行

當行は明治十年五月國立銀行條例に依り第十五國立銀行として創立せられ同三十年國立銀行として營業満期に際し株式會社に組織を更改し同時に資本金壹千八百萬圓に増資し第十五國立銀行の業務を繼承し營業せられ俗に華族銀行と稱し中外に信を博し由來時勢の進展に伴ひ大正二年十月金四千萬圓に増資し更に大正九年八月浪速銀行、神戸川崎銀行、丁西銀行の三行を合併し一躍壹億圓の巨資を擁して營業を持續せるもたま／＼昭和二年二月頃よりの財界稀に見る金融恐慌の餘波を受け昭和二年四月二十日休業の已むなきに至り時の藏相高橋是清氏の懇意に依り男爵郷誠之助氏の斡旋となり百方整理につとめたる結果未拂込株金全額の徴收積立金の取崩し資本金の減少重役の私財提供等に依り茲に全く整理の曙光を認め昭和三年四月廿八日單獨開業の域に達し昭和五年九月二日の臨時總會に於ける決議に基き昭和五年末決算の株主總會に於て減資を實行し現在公稱資本金貳千萬圓全額拂込で今日及べり五年末業績を管るに預金總額金壹億五千四百貳萬貳千九百七拾八圓四拾壹錢にして當期利益金は前期繰越損金を控除し金五拾六萬九千九百八拾壹圓貳拾九錢を得之れが處分方法は法定準備金六萬圓後期繰越金五拾萬九千九百八拾壹圓貳拾九錢で當期は無配當である

株式会社 十五銀行

東京市京橋區木挽町七丁目二番地

電話銀座 (57) 長三〇 自三四〇 長四四九六 至三四四 四四九七

取締役 西野元
常務取締役 森俊六郎
同 横山昌次郎
同 市外、大久保、西大久保 一五九
同 電話 四谷 五五二七
取締役 小畑大太郎
同 市外、澁谷、松濤二七
同 電話 青山 五二三九
取締役 山中男
同 電話 九段 五三二

取締役 鍋倉春彦
同 牛込、市谷砂土原二ノ二
同 電話 牛込 一六八九
取締役 西尾忠方
同 麹町、富士見二ノ三七
同 電話 九段 三五三
同 長次郎
同 神戸、山本通三ノ三三
同 電話 葺合 一〇三〇
常任 沖雄熊
同 市外、澁谷、大向通二
同 電話 青山 七〇五三
○本部
○秘書課

課長 室孝吉
同 牛込、南橋五
同 電話 牛込 三二〇〇
秘書 出田嘉次郎
同 市外、池上、雪ヶ谷五三
同 土谷國吉
同 市外、中野、本郷二八九
同 天野安孝
同 矢澤金之助
○監査課
課長 室孝吉
同 (前 橋) 藤塚吉辰
同 千葉、中山在、小栗原 一二七
同 山根茂樹
同 市外、入新井、新井宿 七〇五
同 塚本清一
同 市外、目黒、上目黒一〇一
同 伊瀬知輝
同 市外、杉並、成宗二八一

大谷良平
奥田正臣
吉田巳頭

○調査課

課長 橋本猪六
代理長 三森芳男
市外、渋谷、上智四一

藤本英五
山本義雄
大津牧治
松元泰雄
近藤彌太郎
早川精二
小島義道
田中又治郎
井澤鐵唐

○審査課

課長 室孝吉
課長代理 河野國廣
市外、蒲田、北蒲田一四一

上原善四郎
市外、目黒、下目黒六九

○庶務課

課長 染川春彦
市外、下目黒一六一
電話 高輪 六六五四

課長代理 岡寺正吉
市外、世田ヶ谷、若林二四四

吉井隆
藤崎朋二
和田敬太郎
黒田忠次郎
河野馨治

狩山金三郎

月岡捨男

香原榮造

佐野實一郎

藤原信一

林喜雄

磯七五三

小沼俊

儀間新

竹ノ内宇兵衛

平野秀男

金澤雄鬼

小松原民治

下村ヒデ

井上フミ

○整理部
部長囑託 横山昌次郎
(前 揚)

主査 小谷義郎
麻布、本村一、三、三
電話 高輪 七五九二

調査役 藤塚吉辰
(前 揚)

出田嘉次郎
(前 揚)

島崎謙吉
本郷、田二五

山田孝一郎
市外、中目黒一四二〇

吉國康哉
市外、渋谷、羽澤三七

三浦正人

坂本信吉

篠原貞治

宇田稻夫

吉田三郎

勝田柳助

シ 株式会社十五銀行

高橋寅治

永海憲政

後藤長四郎

石川常吉

白石根實

皆川兼満

○營業部
部長囑託 森俊六郎
(前 揚)

○監理課
課長 河野季忠
市外、入新井、新井宿
木原山一四九五

電話 大森 四五五

課長代理 吉田嘉苗
麹町、元町一ノ一八

電話 九段 六三七

山本福之助
市外、西葛、葛城新田
八五二

幸山富次

渡邊松壽

青池純平

多田十四郎

河井庄之助

本多正震

島本松治

峰崎要

石橋吉三郎

青谷良三

井田良孝

笠道夫

青崎武雄

篁崎武一

谷本武米

平本愛子

杉本愛子

山本満壽子

兒玉文子

○本店營業課

田中周 市外、高田、高田一四三
 電話牛込一〇八三
 江橋 市外、西巢鴨、巢鴨三四
 相馬駿 市外、世田ヶ谷、下北澤
 九七五
 辻佐五郎 麹町、三番、五八東館内
 楠木三代藏 市外、池上、雪ヶ谷五三
 岡田備次郎 市外、池上、雪ヶ谷五三
 安田規工次郎 市外、池上、雪ヶ谷五三
 高田幸次郎 市外、池上、雪ヶ谷五三
 佃佐十郎 市外、池上、雪ヶ谷五三
 須藤正男 市外、池上、雪ヶ谷五三
 岡本親晴 市外、池上、雪ヶ谷五三
 辻千三郎 市外、池上、雪ヶ谷五三
 桑田信一 市外、池上、雪ヶ谷五三

木浦康夫 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 白根成夫 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 山田五郎 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 山田片 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 吉岡勝志 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 山田充一 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 千田均 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 松崎茂夫 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 小佐井美 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 榎本松次郎 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 大野次郎 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 本多忠一郎 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 木谷末次郎 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 淡島路昇 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 飯島捷治 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 檜山倉 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 豊山倉 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 金丸寅幸 市外、代々木、神宮前、神宮前八

○新橋支店

京橋區銀座西八丁目九
 電話銀座(57)自一三〇
 至一三三〇
 支店長 大田 市外、品川、北品川御殿
 山七七八
 電話高輪一八六九
 支店長 矢野 市外、蒲田、御園二六五
 渡邊幸太郎 市外、碑袋、自由ヶ丘
 二五七八
 寺山用秀 市外、矢口、道塚六五
 武林亮 市外、矢口、道塚六五
 金子賢太郎 市外、矢口、道塚六五

軍地廣
 藤田啓之介
 清村春雄

○丸之内支店

丸の内(23)三〇〇六一
 支店長 本間恒治 市外、目黒、中目黒六三
 電話高輪一六八三
 支店長 西川伸一 市外、月塚、下戸塚五八六

伊藤英雄 市外、目黒、中目黒六三
 山野龍雄 市外、目黒、中目黒六三
 杉崎晃四郎 市外、目黒、中目黒六三
 小沼政治郎 市外、目黒、中目黒六三
 菅谷昇二 市外、目黒、中目黒六三
 菅谷昇二 市外、目黒、中目黒六三
 諸葛順一郎 市外、目黒、中目黒六三
 京極高文 市外、目黒、中目黒六三
 野崎友義 市外、目黒、中目黒六三
 松田武夫 市外、目黒、中目黒六三
 奈倉時治郎 市外、目黒、中目黒六三

○京橋支店

京橋區京橋二丁目二
 支店長 内藤作藏 赤坂、青山北六ノ三三
 電話青山六七二〇
 支店長 濱田正治 京橋、木挽、二ノ一三

山崎形將明 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 山崎形將明 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 服部耕作 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 徳田新平 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 蔵口直次 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 千賀福治 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 中富武義 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 武富好質 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 森川亮一 市外、代々木、神宮前、神宮前八
 高田亮一 市外、代々木、神宮前、神宮前八

佐々木董二 市外、瀧野川、四ヶ原
 五三六
 大河内信哲 市外、瀧野川、四ヶ原
 小石川、久堅三八
 武者爲吉 市外、瀧野川、四ヶ原
 河野静夫 市外、瀧野川、四ヶ原
 正木脩三 市外、瀧野川、四ヶ原
 竹中弘次 市外、瀧野川、四ヶ原
 立元福二 市外、瀧野川、四ヶ原
 央戸榮一 市外、瀧野川、四ヶ原
 花輪企宜 市外、瀧野川、四ヶ原
 宮原廣 市外、瀧野川、四ヶ原
 相川實 市外、瀧野川、四ヶ原
 大久保一郎 市外、瀧野川、四ヶ原
 横田虎吉 市外、瀧野川、四ヶ原
 田中雄次郎 市外、瀧野川、四ヶ原
 三坂龍夫 市外、瀧野川、四ヶ原

○人形町支店

日本橋區新乗物町五
電話(67)自一〇〇〇 六〇〇
浪花(67)一至二〇二 二五五

支店長 大坪 俊次郎
芝、白金、今里、八九
電話高輪一七〇三

支店長 飯田 定次郎
市外、中野三三〇〇

同 高橋 四郎
市外、品川、北品川御殿
山七二七

支店長 鶴殿 宗次郎
市外、大崎、上大崎七
市外、世田ヶ谷、經堂
三八九

支店長 福井 弘治
市外、世田ヶ谷、經堂
三八九

支店長 難波田 富次郎
市外、世田ヶ谷、經堂
三八九

支店長 上田 榮一郎
市外、世田ヶ谷、經堂
三八九

支店長 坂野 俊太郎
市外、世田ヶ谷、經堂
三八九

支店長 加藤 正

楳居 信一 夫
橋本 嘉之助
北原 六郎
若松 誠三郎
黒金 孝治
本多 千之治
澤田 順吾
八田 佐武郎
山本 逸也
保田 昌也
戸島 昌也
藤堂 高昌
猪俣 亮忠
新井 亮
村井 義雄
櫻井 義雄
輕部 義雄
磯谷 九雄

○兩國支店

日本橋區馬喰町四
ノ一五

支店長 高橋 敏太郎
下谷、上野、櫻木一七
電話下谷五四六九

支店長 平川 佛助
四谷、塩一ノ二四

支店長 山田 豊
赤坂新一五ノ四三

支店長 橋本 衛士夫
市外、世田ヶ谷、下北澤
九八一

支店長 中村 直三

支店長 江口 忠爾

瀨尾 善壽
入谷 辰雄
福田 精市

○深川支店

深川區小松町三〇
電話本所(73)二二八九
二三二二

支店長 吉田 純正
江川 一貫
山本 正次郎
高山 三郎
窪田 泉

支店長 本田 敬藏
市外、世田ヶ谷、下北澤大
山谷八二五
電話世田ヶ谷一五五二

支店長 河野 通夫
市外、代々橋、笹塚二〇六

支店長 平井 秀七
四谷、南寺

支店長 西保 輔
市外、大井三三〇三
佐田方

支店長 内山 茂兵衛

○神田支店

神田區雉子町三二
電話(25)二六九二
二六九三

支店長 木村 正吉
湖村 安三郎
田村 清三郎
土井 一男
内田 彌一男
米田 勝男
田中 松太郎
吉川 久井

支店長 牧謙一
市外、碑文、碑文谷向
原二五〇

支店長 石井 浩次
牛込、加賀二ノ九
電話牛込六四三五

支店長 渥美 順
市外、荏原、中延五七三

川島 清二市
鈴木 安三
相良 長武
女鹿 清
島田 喜己太郎
大川 廣策
竹内 政治
佐藤 一榮

株式会社 十八銀行

當行は明治十年十一月の創立に係り本店を長崎市に存置し最初金拾六萬圓の資本金を擁せしも十一年五月金貳拾五萬圓に二十年六月金五拾萬圓三十年七月金百萬圓三十二年七月金貳百萬圓三十九年十一月金貳百貳拾五萬圓四十年二月に參百萬圓大正六年十一月金六百萬圓同八年十二月金六百五拾萬圓同十一年三月金千五百萬圓拂込金八百六拾貳萬五千圓と云ふ時勢の進展に自行の發展に伴ひ漸進的に増大されたものである

株式会社 十八銀行東京支店

東京市日本橋區小傳馬町三丁目
電話浪花(67)四九五四

支店長

中島淳三

市外、千駄ヶ谷四五〇
電話青山六七九三

支店長

林保次

小石川、宮下二三

△預金係

松尾茂
市外、日暮里、谷中本
一〇二一

△計算係

丹羽廉一
小石川、宮下二三

△出納係

高比良辰一
市外、巢鴨、上駒込七一
高橋榮一

△爲替係

野村次郎
小石川、宮下二三
田中伊豫志

△調査係

係長(兼) 木佐助
 参事 鈴木正一
 書記 中田正一
 本郷、湯島天神二ノ毛
 中山松五郎方
 同 原慶二
 同 下橋忠美
 同 小池藤次郎
 同 片村佐一郎
 同 宮坂庸三
 同 百瀬倉三
 同 布川省三
 同 玉野信一
 同 中澤信一
 休職 八木信成
 〇囑託
 囑託 伊津野虎輝
 同 河野雅男

〇営業部

囑託 原正一
 同 橋田政雄
 部長 渡邊寧祐
 市外、上大崎四四四
 電話高輪一七四九
 参事 加藤新右衛門
 市外、高田、高田一六三
 電話牛込八九三
 部長代理 木佐正男
 赤坂、丹後一
 係長 玉井鐵雄
 市外、松澤、松原三九
 書記 大塚泰助
 市外、瀧野川、上中里空
 同 桑原高英
 同 木村磐松

△貸付係

書記 小川喜代次
 係長(兼) 木佐正男
 書記 伊東徳太郎
 市外、大井、鹿島谷三
 〇一五
 同 井上輝彦
 同 浅利政孝
 係長 和歌森利久
 市外、目黒、下目黒四七
 書記 田口増兵衛
 埼玉、北足立、芝二六三
 同 坂田秀藏
 同 前田隆一
 同 荒井嘉男
 同 小笹廣

△出納係

書記 高田喜輔
 同 高野永吉男
 同 高野福次郎
 同 中平隆雄
 係長 早坂金次郎
 書記 小石川、久堅二七
 山本富之助
 市外、岩淵、稻付一二二
 同 塚田儀平
 同 村上昭平
 同 澤田直利
 同 小林孝次郎
 同 浦部浩三
 同 松田保三
 同 高木健治
 同 石崎條次
 同 大西賢之輔
 同 竹内武夫

△計算係

係長(兼) 加藤新右衛門
 参事 伊藤博文
 市外、板橋、金井窪東益
 書記 伊藤博文
 同 曾布川理
 同 島崎安造
 同 尼崎昌峻
 同 北原昌吉
 同 碓井隆吉
 同 鈴木義雄
 同 木間順藏
 同 奥村勝吉
 同 神谷猛
 同 山口克己
 休職 林壽多敏
 同 家壽多泰治
 同 原島彦七

〇臨時整理部

休職 東徳三郎
 部長(兼) 田島道治
 大長(兼) 渡邊寧祐
 同 大塚野弘
 同 森口強太郎
 同 山村喜一郎
 同 増山長四郎
 同 庄司丈夫
 同 西宮操
 同 佐藤久市郎
 同 近藤俊雄
 同 宮下平輔
 同 中西利平
 同 尾澤平一郎
 同 松永薫

書記 野村 虎雄
同 木藤 完二
同 谷武 三三
同 武林 俊三
同 芦原 武夫
同 小谷野 養之助

○検査課

検査役 太田 金彌
同 藤布、霞 二二二
同 電話 青山 六七二八
同 藤 忠正
同 小石川、大塚 三三三
同 浅木 三田 綱一
書記 小林 約千 一郎
同 佐伯 統三
同 津金 鏡郎
同 水谷 丈夫

○丸之内支店

總町區丸ノ内三丁目
六番地
電話(23)二九八三
九ノ内(23)二九八四

支店長 安井 辰衛
支店長代 佐藤 正五郎
同 市外、中野、塔ノ山 六
同 支店長 大木 久四郎
同 市外、目黒、上目黒 一六
同 飛川 維之
同 佐原 政市郎
同 岡崎 熊一郎

○小網町支店

日本橋區小網町四
丁目二番地ノ二
電話(46)自二二二一
至二二二三

支店長 深井 勇太郎
支店長代 難波 米三郎
同 麻布、三河 一三
同 支店長代 笠倉 幸次郎
同 千葉、市川、新田 一四七
同 赤坂、青山 南六ノ三九
同 高畑 二郎
同 堀井 清梧
同 安藤 行雄
同 齋藤 有太郎
同 東條 敏三
同 谷原 俊吉
同 栗原 秀末
同 神田 秀男
同 森田 政之助
同 松浦 政之助

書記 山下 光義
同 山内 武夫

○彌留支店

日本橋區田所町十
一番地ノ一
電話(67)一一〇〇三
浪花(67)一一〇〇三

支店長 今井 國治
同 市外、花原、入新井、新
井宿 一八
支店長代 矢口 廣
同 市外、中野、宮園 通五
ノ一三

書記 並木 治郎
同 島津 俊夫
同 柿澤 達男
同 白杵 敏雄
同 永田 信夫
同 永田 一郎

書記 武藤 一美
同 若江 五郎
同 和田 精一
同 吉田 雄一

○通聖町支店

日本橋區通聖町九
番地ノ三號
電話(67)二六〇三
二六〇五

支店長 荒尾 利吉
同 市外、淀橋、柏木 三七一
支店長代 柿沼 敏夫
同 下谷、御徒、三ノ七 七
同 梶川 原二
同 市外、世田ヶ谷、太子堂 二
四四一
同 手塚 忠三
同 堀江 武治
同 村田 哲藏

○神田支店

神田區連雀町二十五番地
電話(25)六五六
神田(25)二二〇四

書記 上村 道久
同 板谷 喬
同 明石 正基
同 小林 寛七郎
同 小田 康氏
同 神田 邦榮
同 吉田 宗二
同 城井 宗二
同 橋本 榮一郎
同 清野 嘉長
同 山脇 竹雄
同 石黒 竹男

支店長 竹村 大太郎
同 市外、花原、中延 一〇
支店長代 加賀 見利夫
同 市外、神安、金 二七 一八